

問5 市全般に関することについておうかがいします。

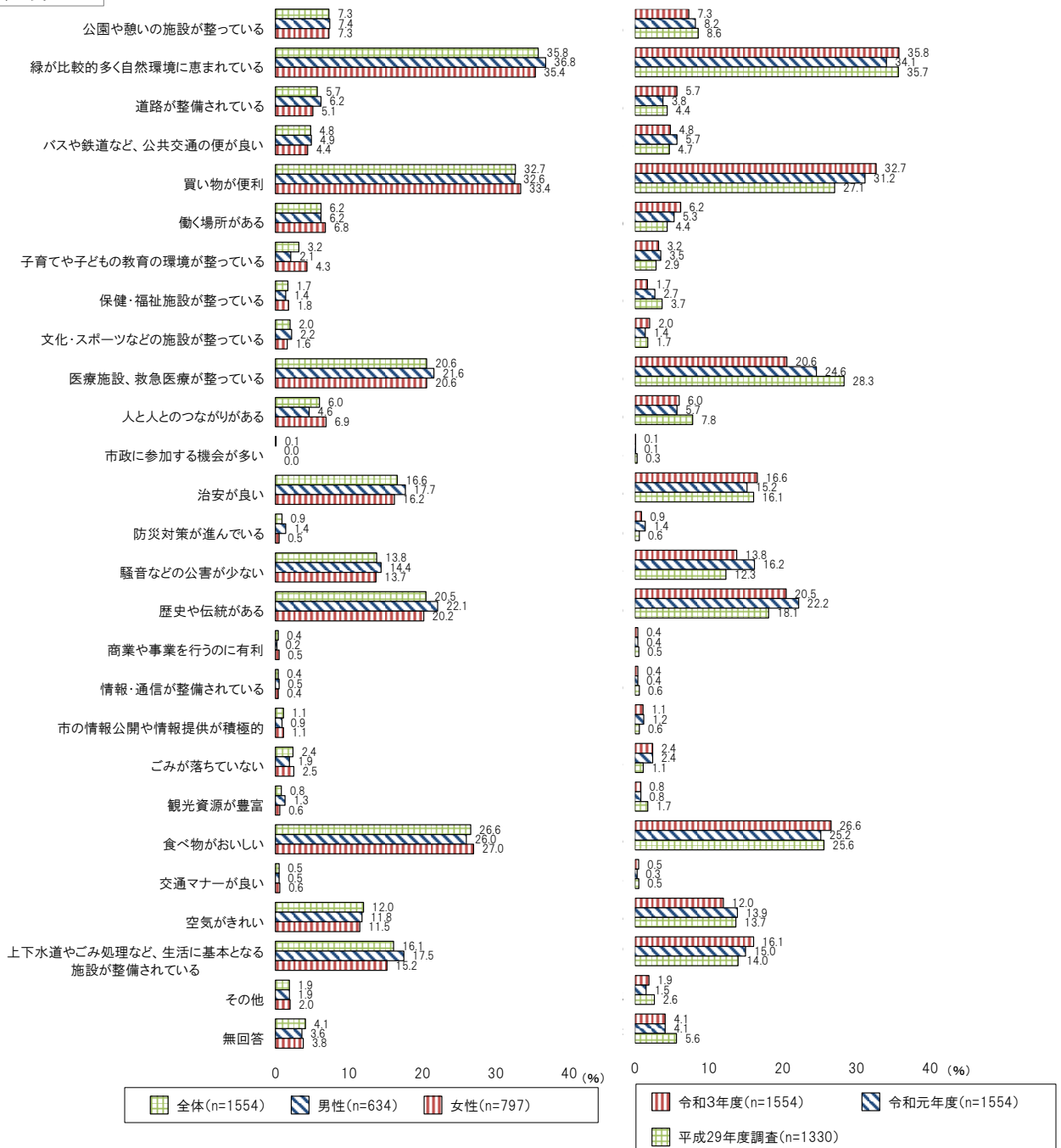
(1) あなたが思う松阪市の良いところはどんなことですか。(〇は3つまで)

「緑が比較的多く自然環境に恵まれている」が35.8%と最も高く、ついで「買い物が便利」が32.7%、「食べ物がおいしい」が26.6%となっている。

性別にみると、1番目、2番目、3番目に高い項目は同じだが、ついで4番目に高い項目は男性では「歴史や伝統がある」、女性では「医療施設、救急医療が整っている」となっている。

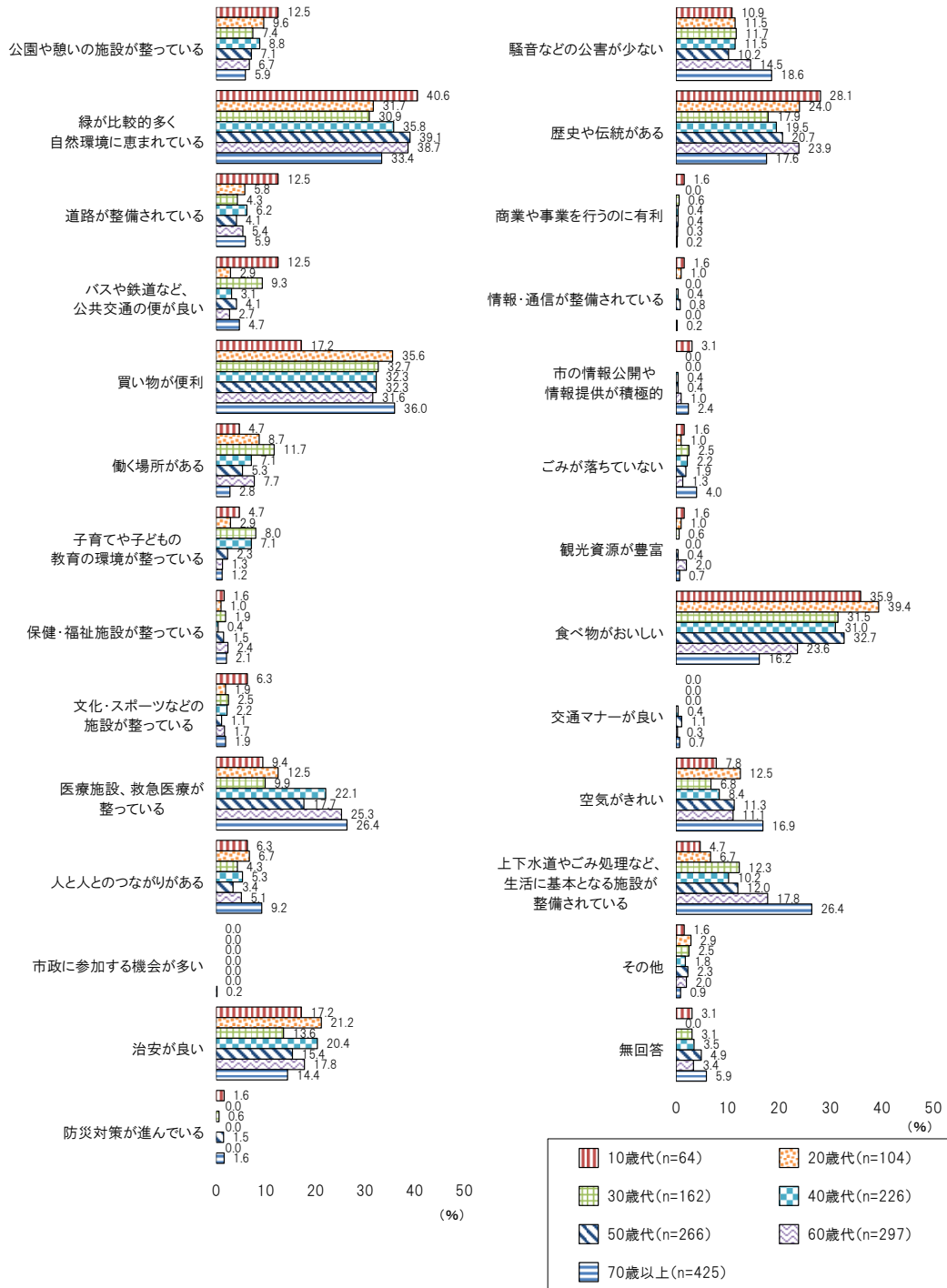
前回調査と比較すると、「道路が整備されている」「緑が比較的多く自然環境に恵まれている」等が増加しており、「医療施設、救急医療が整っている」「騒音などの公害が少ない」等が減少している。

問5(1) 松阪市の良いところ



年代別にみると、1番目に高い項目は、10歳代、40歳代、50歳代、60歳代では「緑が比較的多く自然環境に恵まれている」、30歳代、70歳以上では「買い物物が便利」、20歳代では「食べ物がおいしい」となっている。

問5(1) 松阪市の良いところ



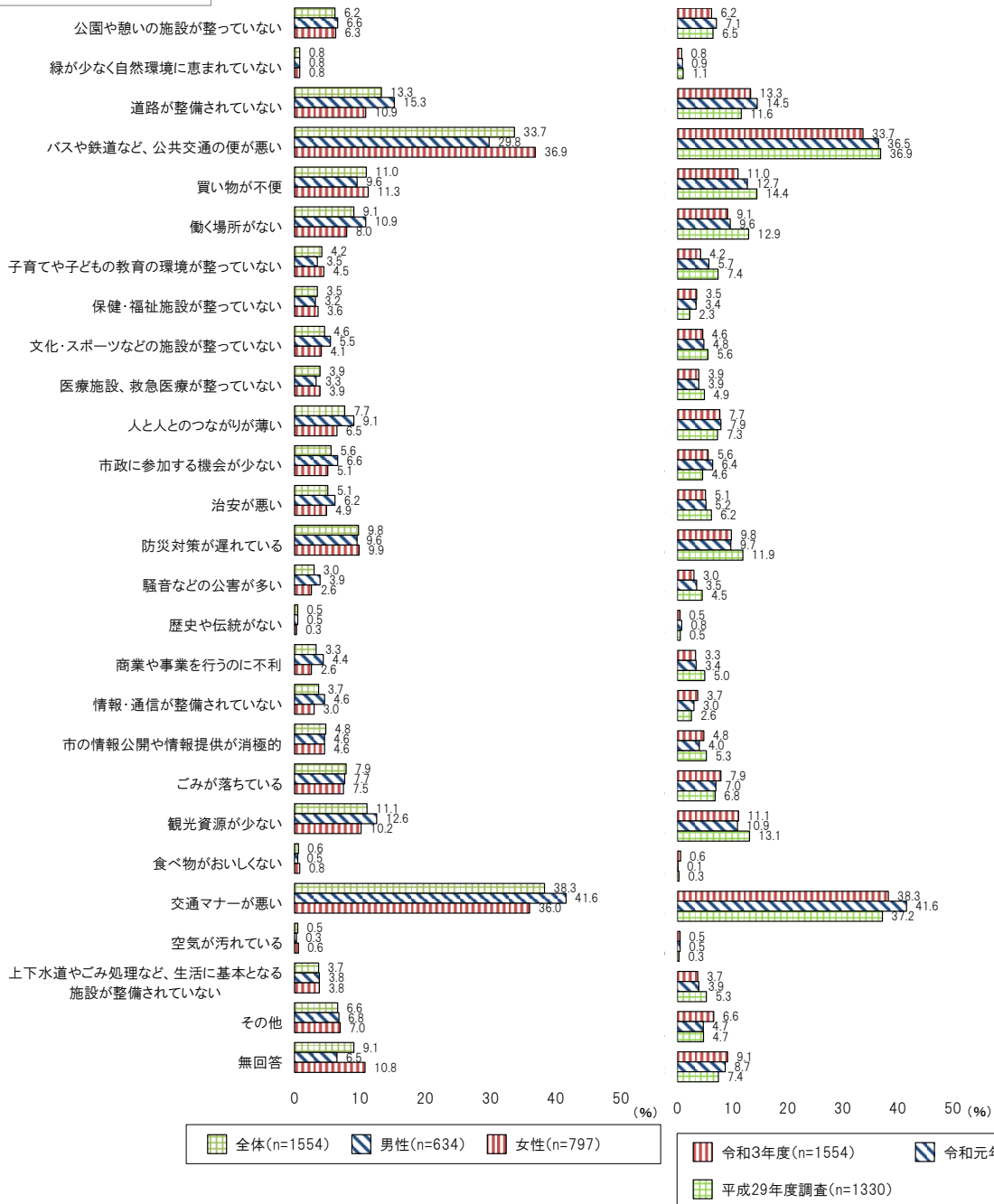
(2) あなたが思う松阪市の良くないところはどんなことですか。(〇は3つまで)

「交通マナーが悪い」が38.3%で最も高く、ついで「バスや鉄道など、公共交通の便が悪い」が33.7%、「道路が整備されていない」が13.3%となっている。

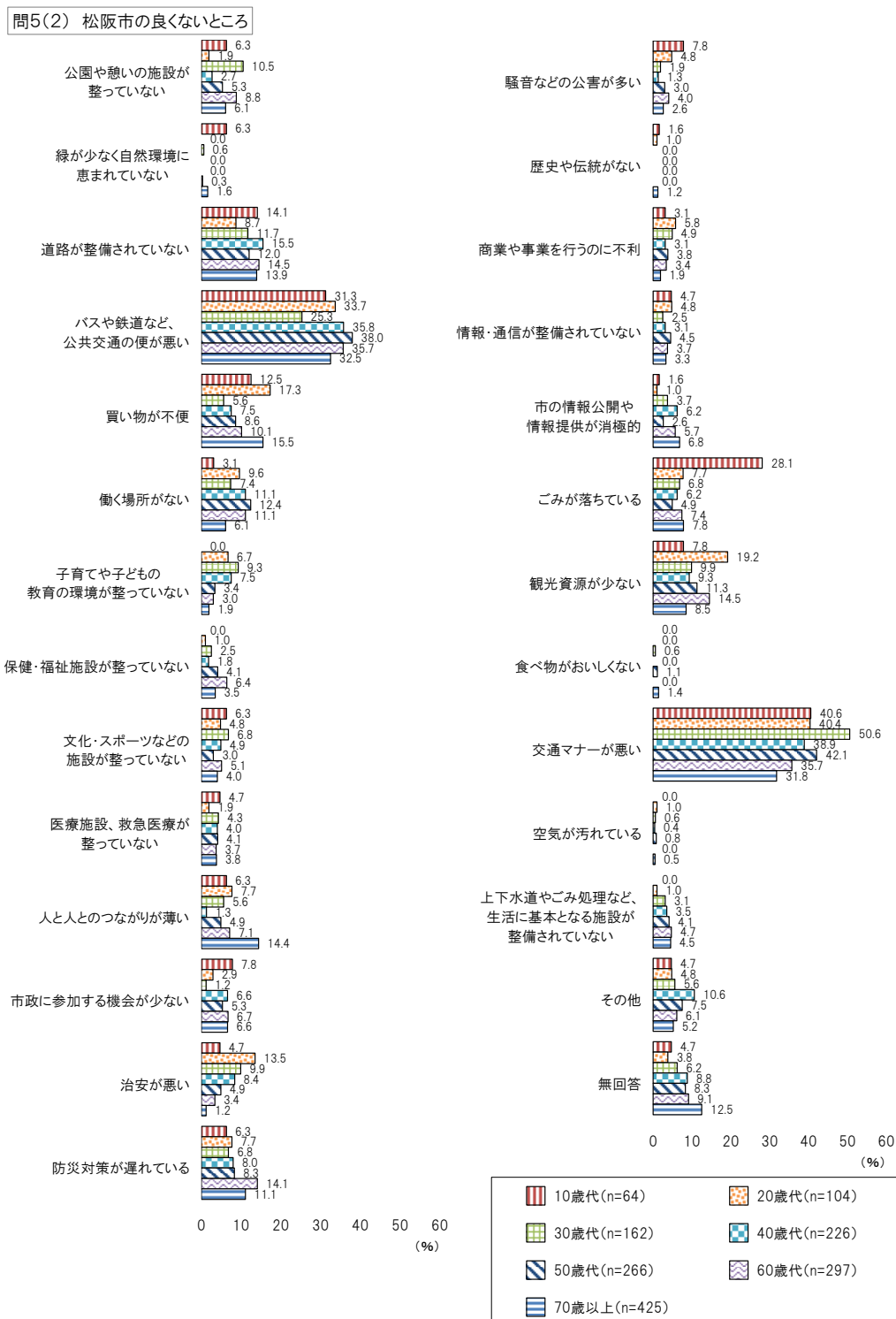
性別にみると1番目に高い項目は男性では「交通マナーが悪い」、女性では「バスや鉄道など、公共交通の便が悪い」となっている。

前回調査と比較すると、「ごみが落ちている」「その他」等が増加しており、「交通マナーが悪い」「バスや鉄道など、公共交通の便が悪い」等が減少している。

問5(2) 松阪市の良くないところ



年代別にみると、1番目、2番目に高い項目はいずれの年代も「交通マナーが悪い」もしくは「バスや鉄道など、公共交通の便が悪い」であるが、3番目に高い項目は、10歳代は「ごみが落ちている」、20歳代、60歳代は「観光資源が少ない」30歳代、40歳代、60歳代は「道路が整備されていない」、50歳代は「働く場所がない」、70歳以上は「買い物に不便」であった。なお、60歳代の3番目に高い項目である「道路が整備されていない」「観光資源が少ない」は同率であった。



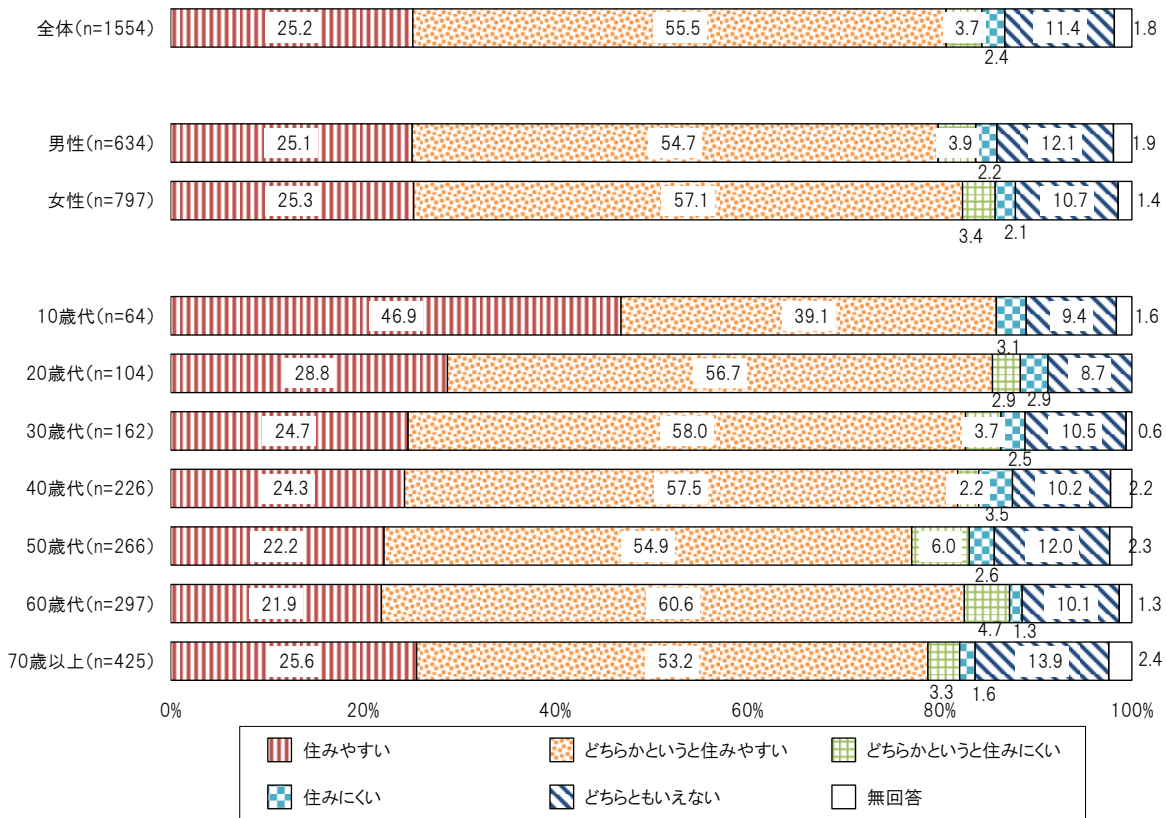
(3) あなたは総合的にみて松阪市は住みやすいところだと感じますか。(〇は1つだけ)

「どちらかというに住みやすい」が55.5%と最も高く、ついで「住みやすい」が25.2%、「どちらともいえない」が11.4%となっている。

性別にみると、男性・女性ともに「住みやすい」「どちらかというに住みやすい」の合計の割合が高くなっているが、女性の方が男性よりも2.6ポイント高くなっている。

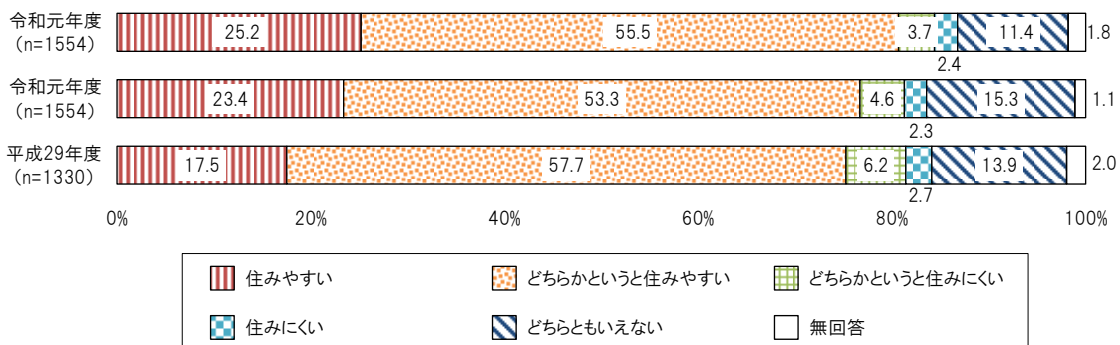
年代別にみると、いずれの年代も「住みやすい」「どちらかというに住みやすい」の合計の割合が77%以上となっており、特に10歳代、20歳代が高くなっている。

問5(3) 松阪市は住みやすいか



前回と比較すると、「住みやすい」「どちらかというに住みやすい」の合計の割合は4.0ポイント増加している。

問5(3) 松阪市は住みやすいか

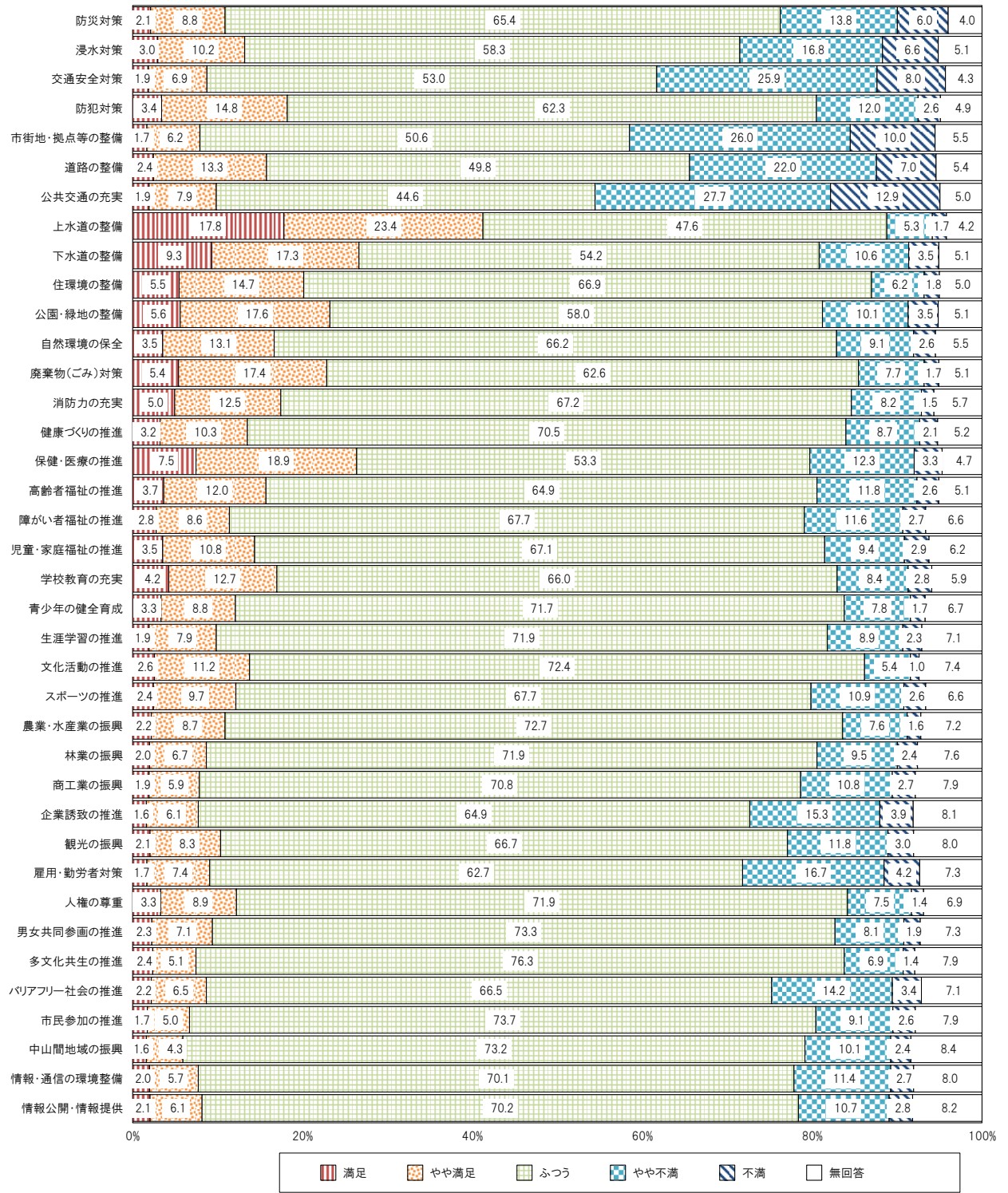


問6 松阪市の政策に対し、あなたの気持ちに最も近いものを(1)～(38)の項目について、満足度、重要度でそれぞれ1つずつ選んで、○をつけてください。

(1) 満足度

満足度(「満足」「やや満足」の合計)が高いものとして、「上水道の整備」が最も高く41.2%となっており、ついで「下水道の整備」が26.6%、「保健・医療の推進」が26.4%となっている。一方で不満度(「やや不満」「不満」)が高いものは、「公共交通の充実」が40.6%で最も高く、ついで「市街地・拠点等の整備」が36.0%、「交通安全対策」が33.9%となっている。

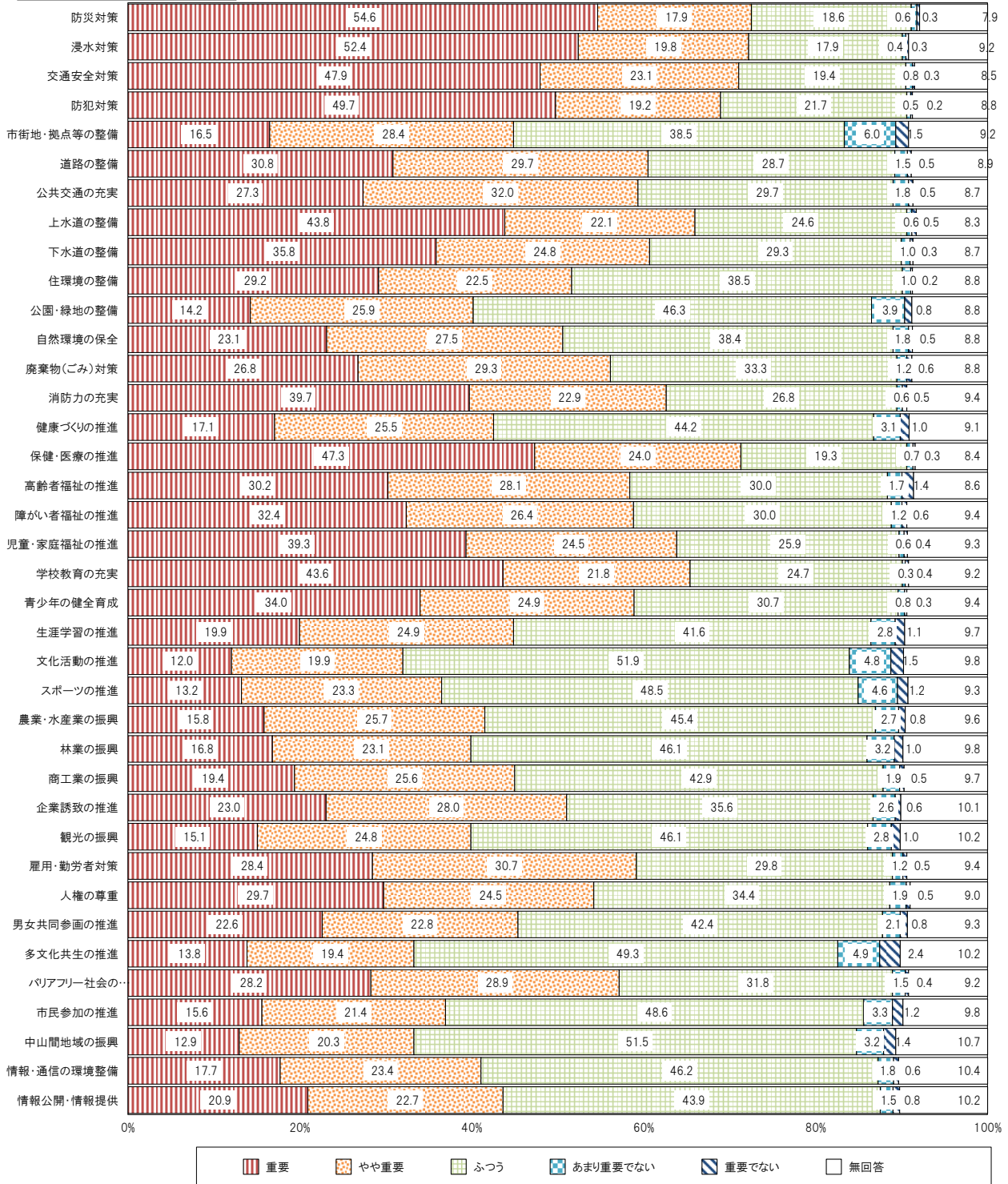
問6 松阪市の政策に対する満足度



(2) 重要度

重要度（「重要」「やや重要」の合計）が高いものとして、「防災対策」が72.5%で最も高く、ついで「浸水対策」が72.2%、「保健・医療の推進」が71.3%となっている。

問6 松阪市の政策に対する重要度



施策項目ごとに、満足度と重要度のそれぞれに評価得点をつけて評価する。評価得点は、満足度及び重要度の選択肢に対して、次に示す点数をつけて算出する。算出にあたっては、以下の式を用いる。

《満足度と重要度の各選択肢に対する得点（ウエイト得点）》

選択肢	満足度	重要度	得点
1	満足	重要	5
2	やや満足	やや重要	4
3	ふつう	ふつう	3
4	やや不満	あまり重要でない	2
5	不満	重要でない	1

《評価得点の算出式》

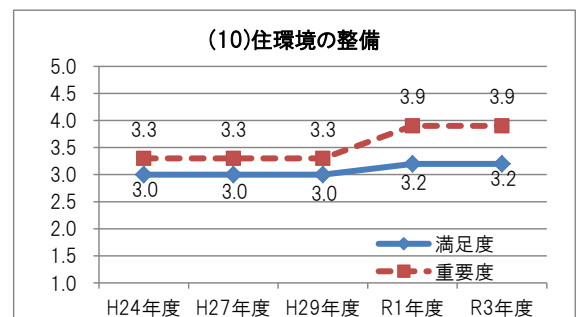
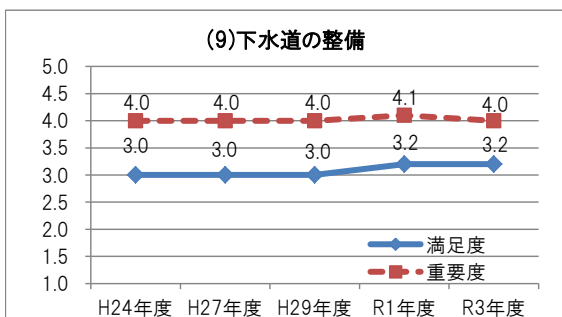
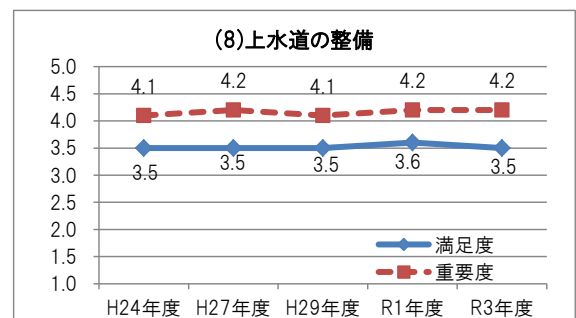
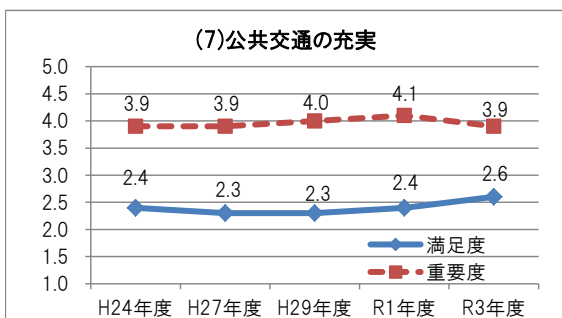
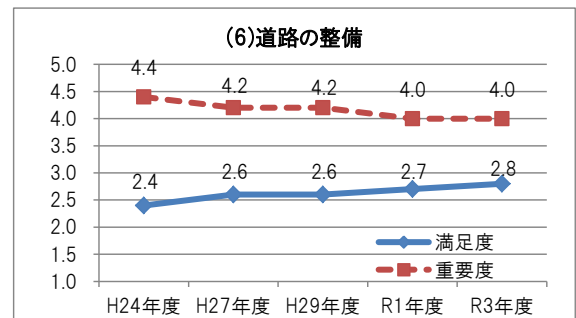
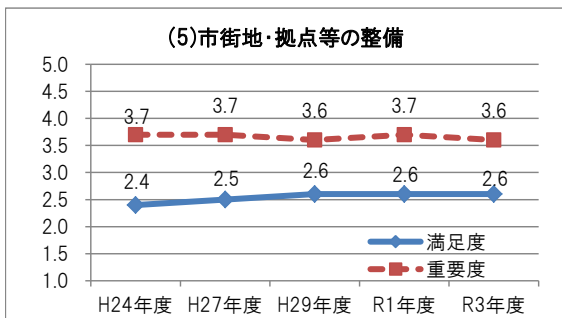
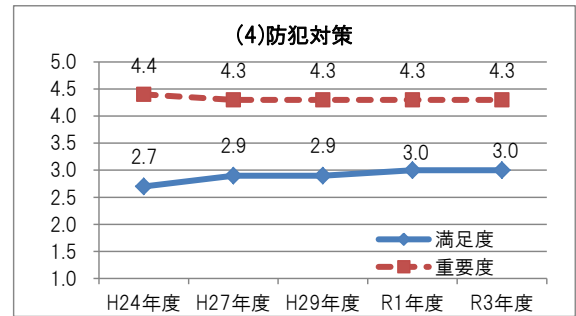
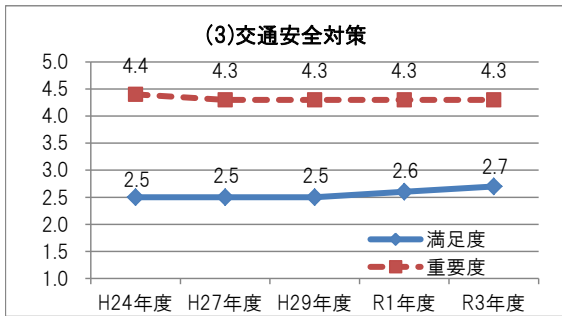
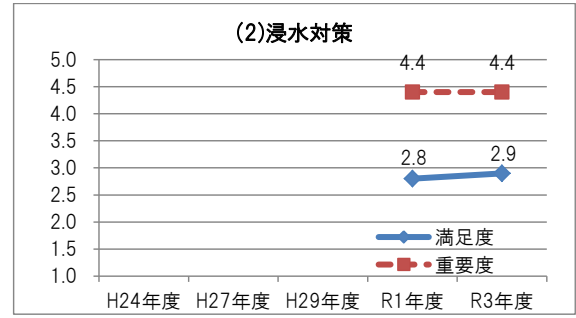
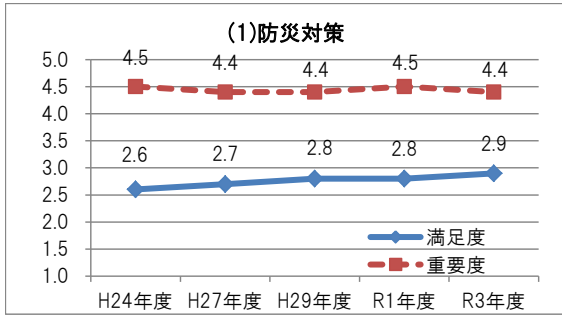
$$\text{満足度} = \frac{[\text{満足}] \times 5 \text{点} + [\text{やや満足}] \times 4 \text{点} + [\text{ふつう}] \times 3 \text{点} + [\text{やや不満}] \times 2 \text{点} + [\text{不満}] \times 1 \text{点}}{\text{全回答数}(n) - \text{無回答数}}$$

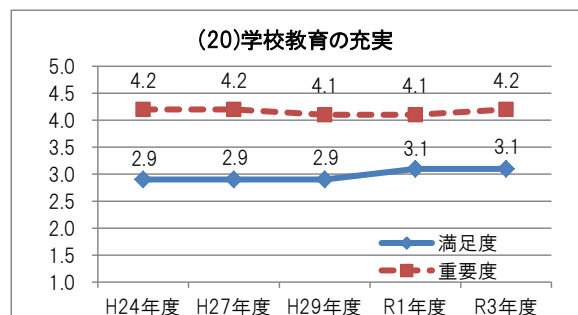
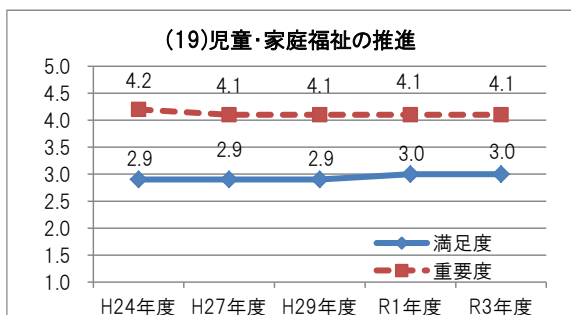
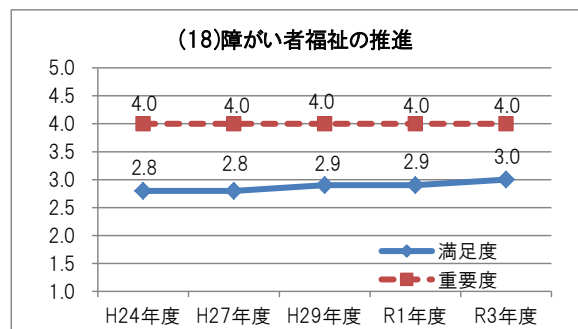
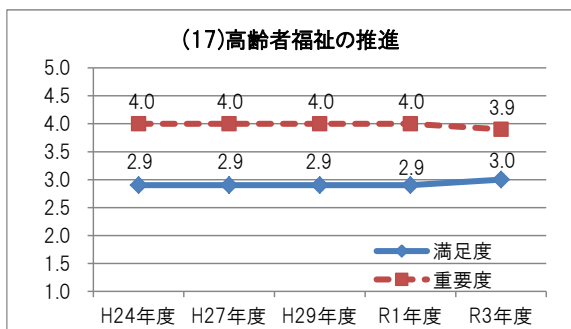
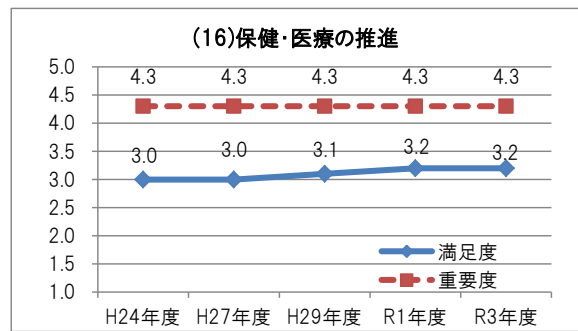
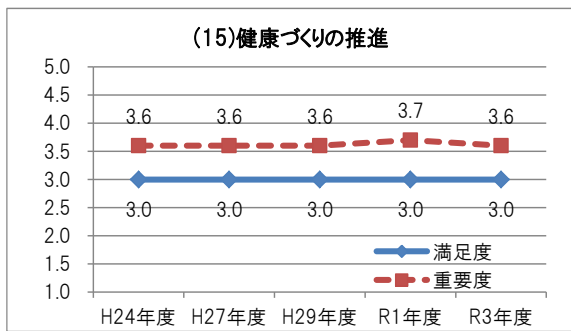
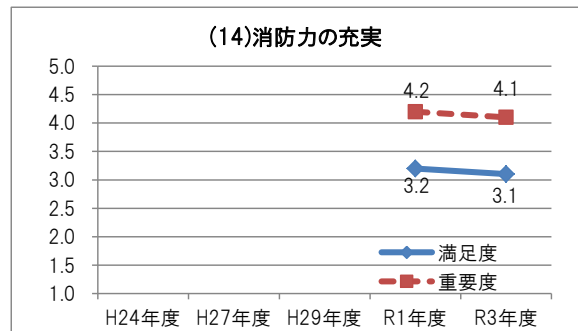
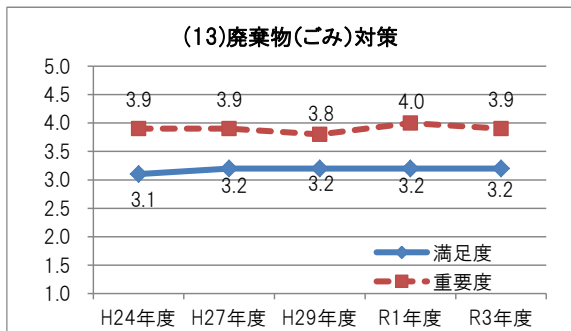
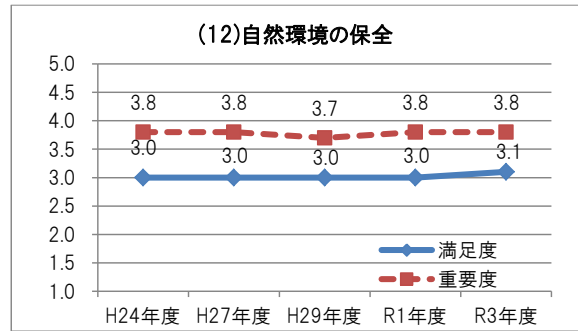
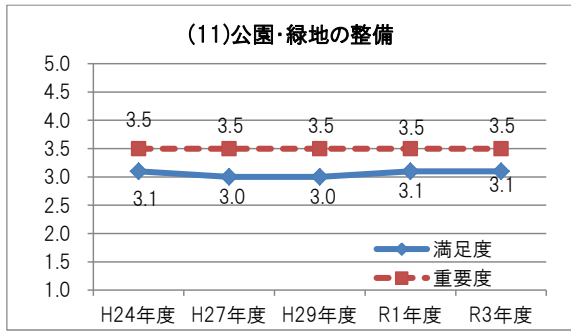
$$\text{重要度} = \frac{[\text{重要}] \times 5 \text{点} + [\text{やや重要}] \times 4 \text{点} + [\text{ふつう}] \times 3 \text{点} + [\text{あまり重要でない}] \times 2 \text{点} + [\text{重要でない}] \times 1 \text{点}}{\text{全回答数}(n) - \text{無回答数}}$$

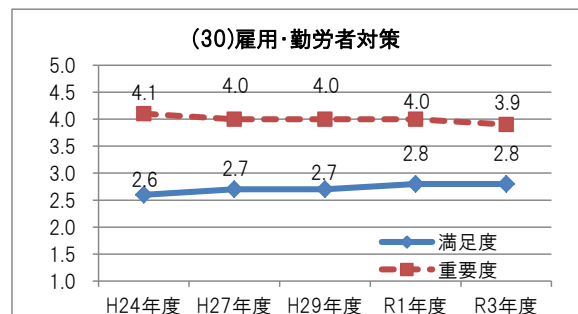
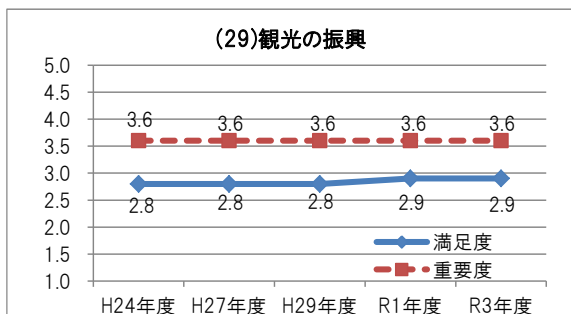
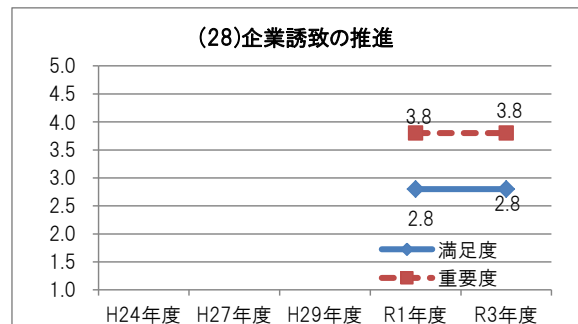
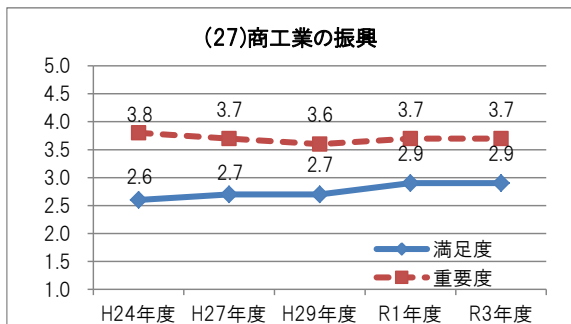
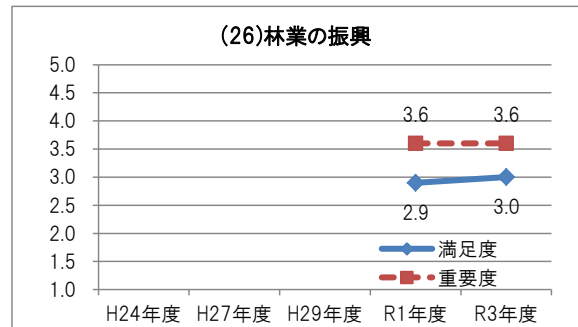
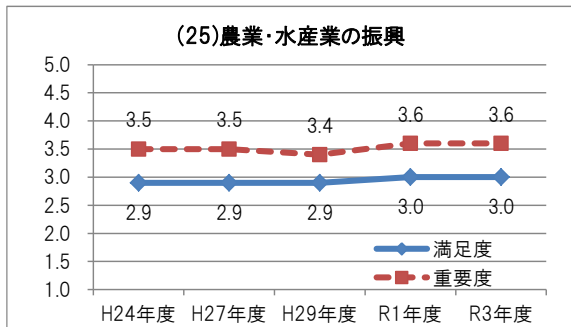
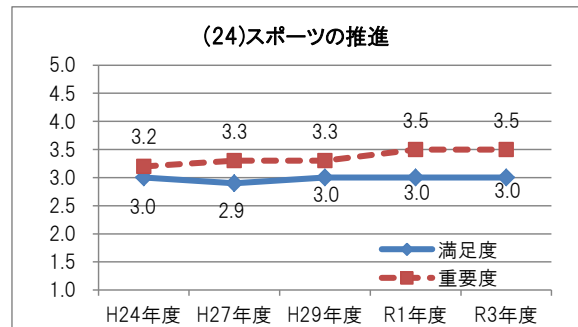
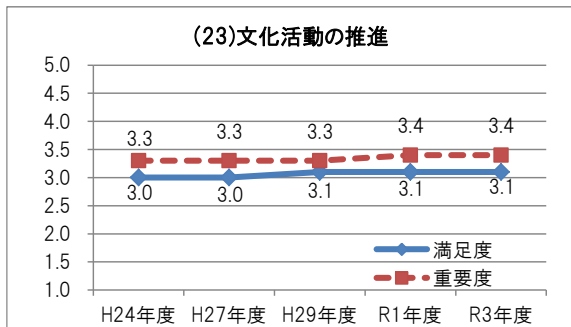
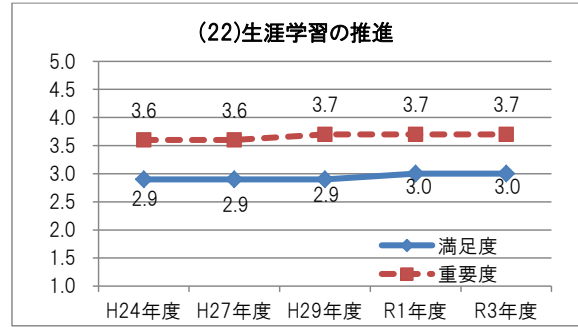
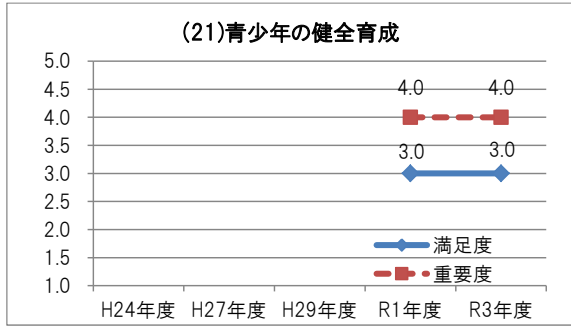
前回と比較すると、満足度では 38 項目中 27 項目が上昇、3 項目が横ばい、8 項目が下降となり、平均では 0.02 の上昇となっている。

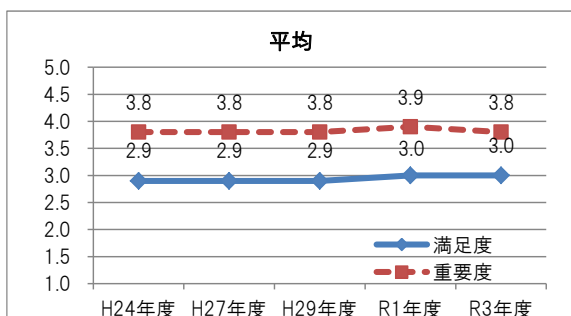
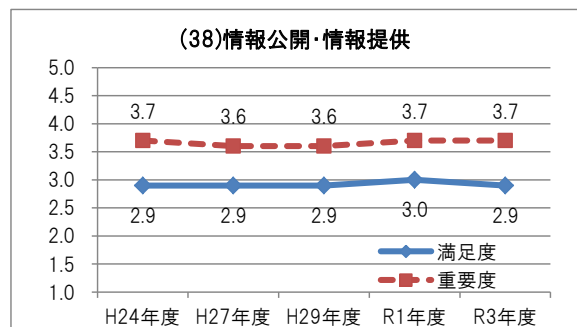
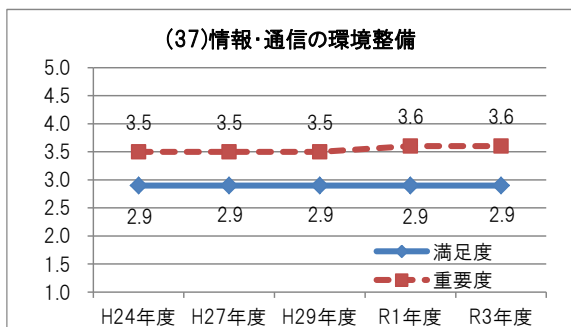
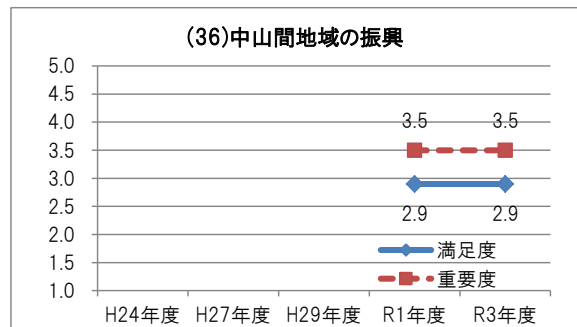
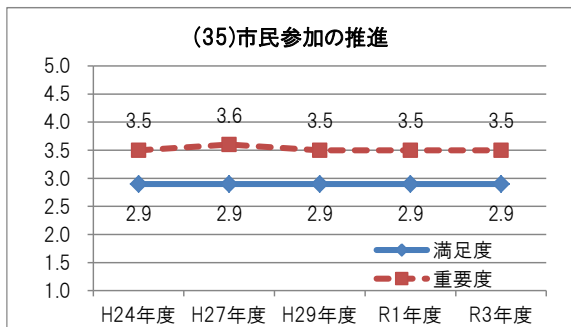
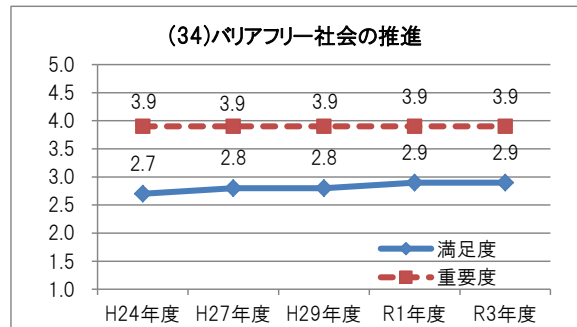
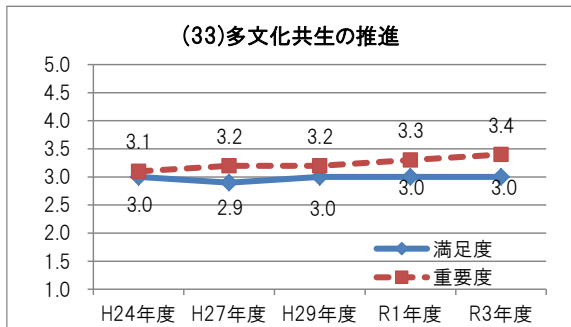
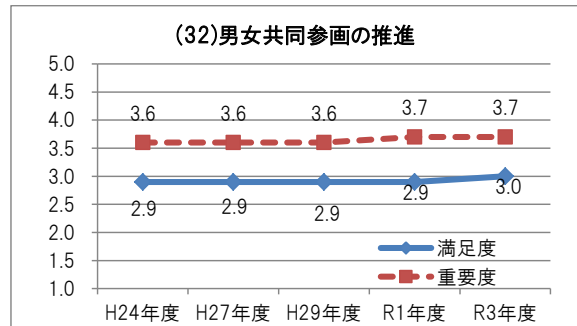
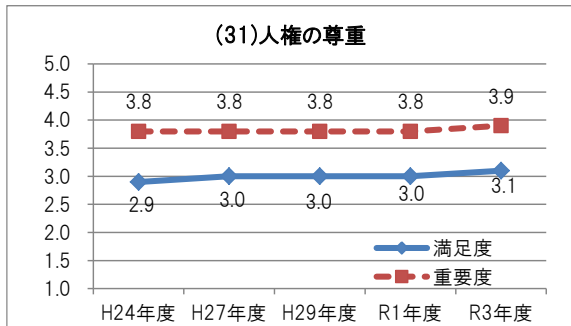
重要度をみると、38 項目中 6 項目が上昇、6 項目が横ばい、26 項目が下降となり、平均では 0.02 の下降となっている。

項目番号	施策	満足度						重要度											
		H24年度	H27年度	H29年度	R1年度	R3年度	H24年度	H27年度	H29年度	R1年度	R3年度								
1	防災対策	2.61	↗	2.72	↗	2.78	↗	2.82	↗	2.87	4.49	↘	4.38	↗	4.42	↗	4.46	↘	4.37
2	浸水対策							2.77	↗	2.85							4.40	↘	4.36
3	交通安全対策	2.47	→	2.47	↗	2.53	↗	2.55	↗	2.67	4.35	↘	4.31	↘	4.29	↗	4.33	↘	4.29
4	防犯対策	2.74	↗	2.91	↗	2.95	→	2.95	↗	3.05	4.38	↘	4.31	↘	4.28	↗	4.32	↘	4.29
5	市街地・拠点等の整備	2.42	↗	2.49	↗	2.56	↗	2.57	↗	2.62	3.72	↗	3.74	↘	3.63	↗	3.66	↘	3.58
6	道路の整備	2.40	↗	2.56	↗	2.61	↗	2.74	↗	2.81	4.37	↘	4.21	↗	4.24	↘	4.02	↘	3.98
7	公共交通の充実	2.37	↘	2.35	↘	2.25	↗	2.39	↗	2.56	3.87	↗	3.90	↗	3.98	↗	4.07	↘	3.92
8	上水道の整備	3.47	↗	3.50	↗	3.54	↗	3.60	↘	3.53	4.14	↘	4.16	↘	4.12	↗	4.23	↘	4.18
9	下水道の整備	2.96	↗	2.97	↗	2.99	↗	3.22	↘	3.19	3.97	↗	4.00	↘	3.98	↗	4.07	↘	4.04
10	住環境の整備	3.00	↘	2.99	↘	2.97	↗	3.17	→	3.17	3.29	↗	3.31	→	3.31	↗	3.88	↘	3.87
11	公園・緑地の整備	3.11	↘	3.03	↘	3.00	↗	3.10	↗	3.12	3.45	↗	3.50	↗	3.48	↗	3.50	↗	3.54
12	自然環境の保全	2.98	↘	2.97	↗	2.98	↗	3.05	↗	3.06	3.76	→	3.76	↘	3.75	→	3.75	↗	3.78
13	廃棄物（ごみ）対策	3.10	↗	3.20	→	3.20	↘	3.17	↗	3.18	3.90	→	3.90	↘	3.83	↗	3.97	↘	3.88
14	消防力の充実							3.15	↘	3.12							4.18	↘	4.11
15	健康づくりの推進	2.97	→	2.97	↗	3.00	↗	3.02	↗	3.04	3.62	↗	3.65	↘	3.63	↗	3.67	↘	3.60
16	保健・医療の推進	2.99	↗	3.03	↗	3.07	↗	3.19	↘	3.16	4.29	→	4.29	↘	4.26	↗	4.30	↘	4.28
17	高齢者福祉の推進	2.94	→	2.94	→	2.94	→	2.94	↗	3.03	4.00	↘	3.98	↘	3.97	↗	4.02	↘	3.92
18	障がい者福祉の推進	2.80	↗	2.82	↗	2.85	↗	2.92	↗	2.97	4.04	↘	3.98	↘	3.97	↗	4.00	↘	3.98
19	児童・家庭福祉の推進	2.89	↗	2.91	↗	2.94	↗	3.01	↗	3.03	4.16	↘	4.11	↘	4.07	↗	4.12	→	4.12
20	学校教育の充実	2.93	→	2.93	↗	2.95	↗	3.08	→	3.08	4.18	→	4.18	↘	4.13	↗	4.15	↗	4.19
21	青少年の健全育成							3.03	↗	3.04							4.04	↘	4.01
22	生涯学習の推進	2.93	↘	2.91	↗	2.94	↗	2.97	↗	2.98	3.61	↘	3.58	↗	3.65	↗	3.67	↘	3.66
23	文化活動の推進	3.01	→	3.01	↗	3.06	↗	3.10	→	3.10	3.31	↘	3.33	↘	3.30	↗	3.44	↘	3.40
24	スポーツの推進	2.95	↘	2.94	↗	2.97	↗	3.00	↘	2.98	3.22	↗	3.30	↘	3.27	↗	3.49	↘	3.47
25	農業・水産業の振興	2.92	↘	2.91	↗	2.95	↗	3.01	↗	3.02	3.50	↗	3.52	↘	3.43	↗	3.62	↘	3.59
26	林業の振興							2.95	↗	2.96							3.57	→	3.57
27	商工業の振興	2.57	↗	2.65	↗	2.70	↗	2.89	↗	2.93	3.78	↘	3.71	↘	3.65	↗	3.68	→	3.68
28	企業誘致の推進							2.82	↗	2.85							3.79	↘	3.78
29	観光の振興	2.75	↗	2.79	↗	2.83	↗	2.93	↗	2.94	3.61	↘	3.58	↘	3.56	↗	3.59	↘	3.56
30	雇用・勤労者対策	2.57	↗	2.67	↗	2.72	↗	2.79	↗	2.85	4.08	↘	4.01	↘	3.96	↘	3.95	↘	3.94
31	人権の尊重	2.93	↗	2.95	↗	2.99	↗	3.00	↗	3.06	3.81	↘	3.76	↗	3.78	↗	3.85	↗	3.89
32	男女共同参画の推進	2.94	↘	2.91	↗	2.93	↗	2.95	↗	3.00	3.58	→	3.58	→	3.58	↗	3.68	↗	3.71
33	多文化共生の推進	2.95	↗	2.92	↗	2.97	↘	2.96	↗	3.00	3.14	↗	3.19	↗	3.20	↗	3.35	↗	3.42
34	バリアフリー社会の推進	2.74	↘	2.79	→	2.79	↗	2.86	↗	2.89	3.92	↘	3.87	↘	3.86	↗	3.92	→	3.92
35	市民参加の推進	2.87	↘	2.85	↗	2.89	↗	2.95	↘	2.94	3.50	↗	3.55	↘	3.48	↗	3.52	→	3.52
36	中山間地域の振興							2.88	↗	2.92							3.46	↘	3.45
37	情報・通信の環境整備	2.91	↘	2.88	↗	2.91	↗	2.94	↘	2.92	3.48	↗	3.50	↘	3.49	↗	3.62	→	3.62
38	情報公開・情報提供	2.94	↘	2.85	↗	2.91	↗	2.96	↘	2.93	3.66	↘	3.64	↘	3.62	↗	3.70	↘	3.69
平均		2.85	↗	2.90	→	2.90	↗	2.96	↗	2.98	3.82	↘	3.80	↘	3.79	↗	3.87	↘	3.85







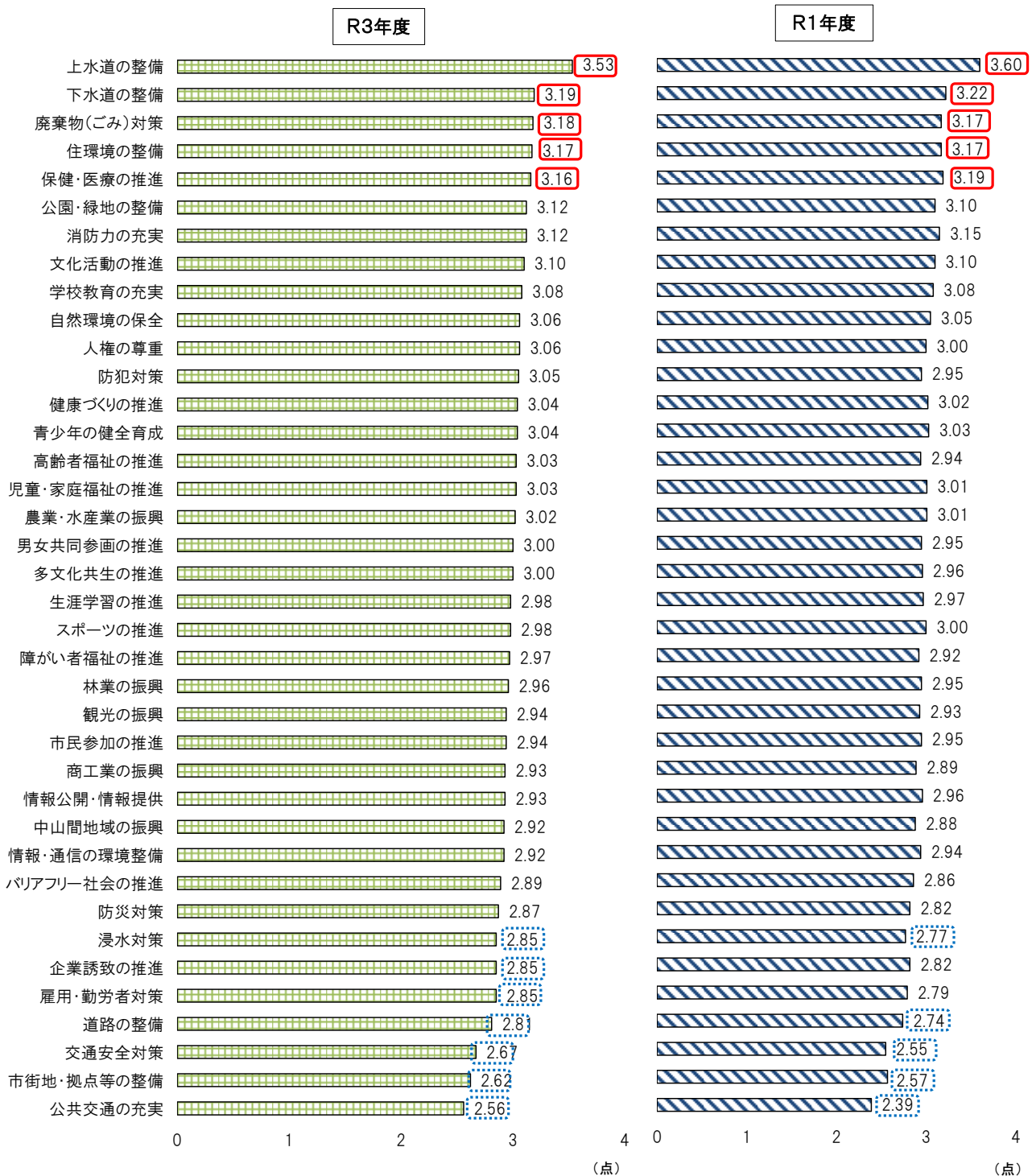


満足度の評価得点が高い上位5項目は赤枠線内 3.53、評価得点が低い下位5項目は青枠線内 2.85 となっている。

今回の上位5項目はすべて前回と同様の項目となっており、それら項目のうち「上水道の整備」「下水道の整備」「保健・医療の推進」の3項目については満足度が低下、「廃棄物（ごみ）対策の整備」については満足度が上昇している。

下位5項目についてもすべて前回と同様の項目となっている。なお今回の下位から5番目から7番目は「浸水対策」「企業誘致の推進」「雇用・勤労者対策」の3つの項目が同点であった。

問6 松阪市の政策に対する満足度



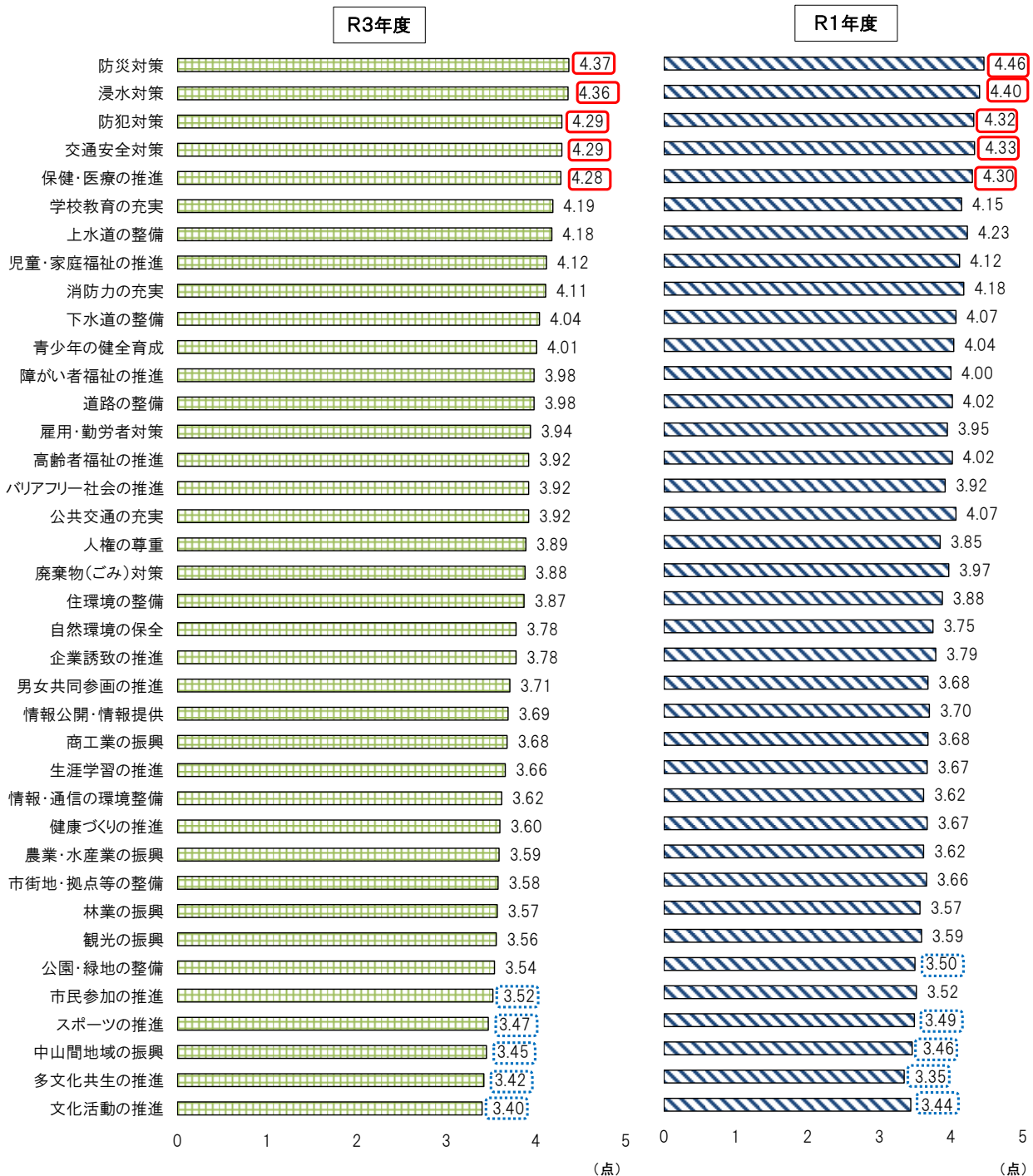
重要度の評価得点が高い上位5項目は赤枠線内 、評価得点が低い下位5項目は青枠線内 となっている。

今回の上位5項目はすべて前回と同様の項目となっており、いずれの項目も重要度は低下している。

一方で下位5項目について、下位から4項目は前回と同様となっている。下位5番目については、前は「公園・緑地の整備」であったものが今回は「市民参加の推進」となっている。

各項目の重要度の変化状況をみると、「多文化共生の推進」は上昇し、「スポーツの推進」「中山間地域の振興」「文化活動の推進」では低下している。

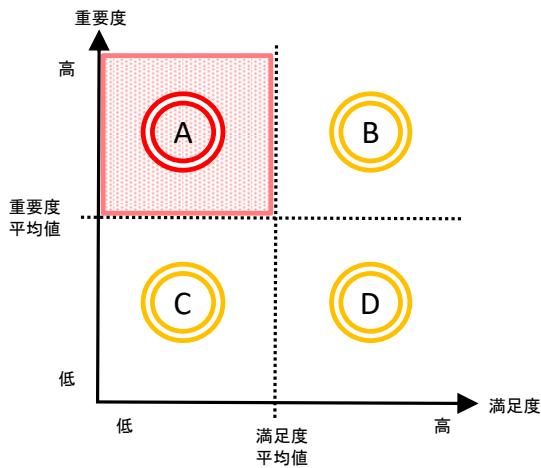
問6 松阪市の政策に対する重要度



38 項目の満足度と重要度から「市民が優先して求めている施策」を検討する。

《分析方法》

算出した満足度と重要度の評価得点をもとに、満足度と重要度をそれぞれ横軸と縦軸にとり、満足度と重要度の平均値を軸として、4つの領域に分割して分析する。



《最重点項目の設定》

重要度が高く、満足度が低い項目は、市民が最も望んでいる最重点項目と考えることができる。

最重点項目の判定基準

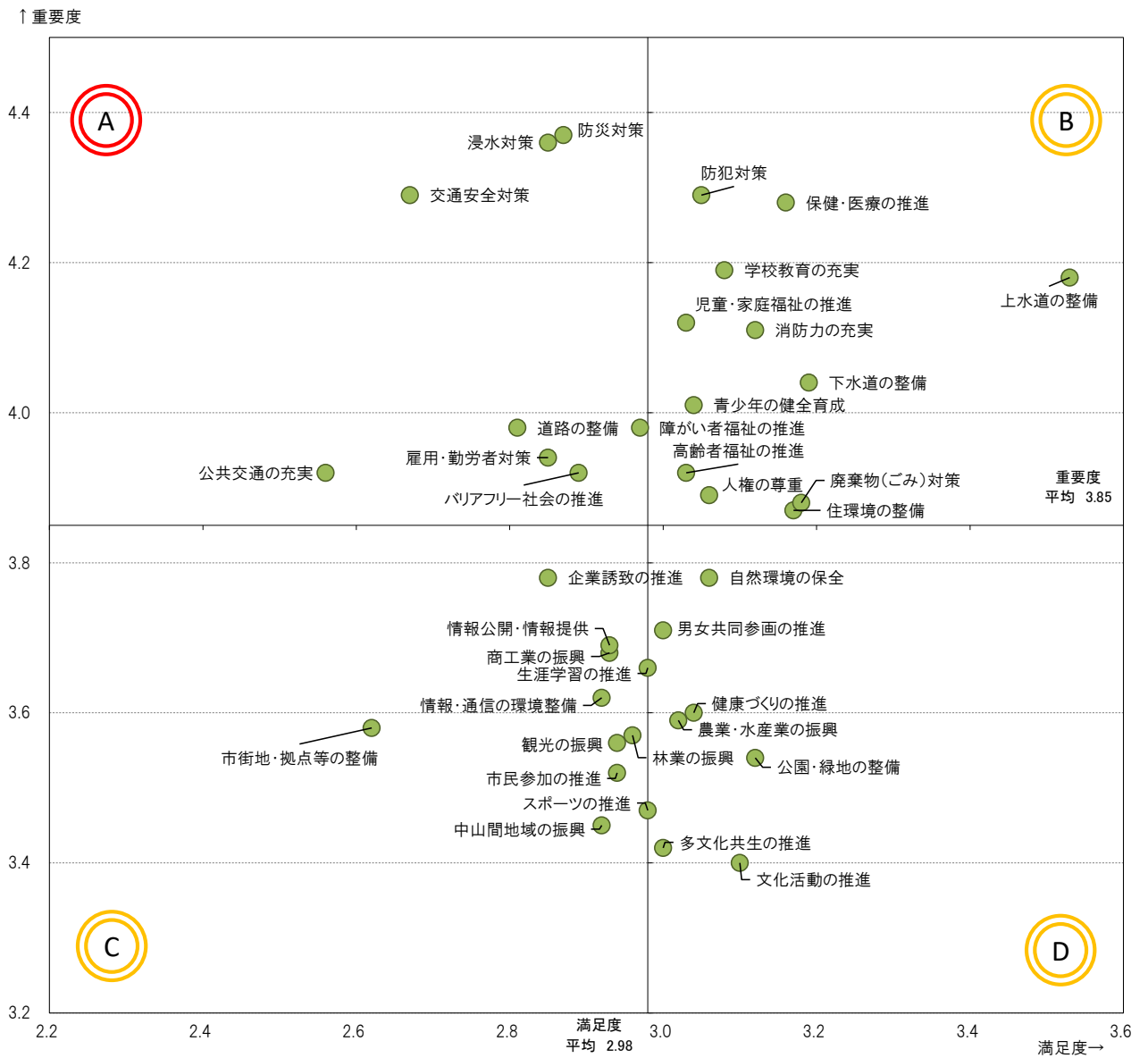
- ・満足度⇒平均値を下回る
- ・重要度⇒平均値を上回る

《施策項目に対する考え方》

分類

- ① A 満足度が低く、重要度が高い ⇒ **最重点項目（優先すべき施策）**
- ② B 満足度が高く、重要度が高い ⇒ **これまで通り継続して実施すべき施策**
- ③ C 満足度が低く、重要度が低い ⇒ **施策内容等を見直し、検討を要する施策**
- ④ D 満足度が高く、重要度が低い ⇒ **これまで通り継続し、将来に向けての検討が考えられる施策**

満足度と重要度の関係



※この表は P32 の表の数値を用いています。

以上の方法により、満足度と重要度をまとめると、各項目の分類は下記のとおりとなる。

<p>A</p>	<p>最重点項目(市民が優先して求めている施策)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 防災対策 <input type="radio"/> 浸水対策 <input type="radio"/> 交通安全対策 <input type="radio"/> 道路の整備 <input type="radio"/> 公共交通の充実 <input type="radio"/> 障がい者福祉の推進 <input type="radio"/> 雇用・勤労者対策 <input type="radio"/> バリアフリー社会の推進
<p>B</p>	<p>これまで通り継続して実施すべき施策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 防犯対策 <input type="radio"/> 上水道の整備 <input type="radio"/> 下水道の整備 <input type="radio"/> 住環境の整備 <input type="radio"/> 廃棄物(ごみ)対策 <input type="radio"/> 消防力の充実 <input type="radio"/> 保健・医療の推進 <input type="radio"/> 高齢者福祉の推進 <input type="radio"/> 児童・家庭福祉の推進 <input type="radio"/> 学校教育の充実 <input type="radio"/> 青少年の健全育成 <input type="radio"/> 人権の尊重
<p>C</p>	<p>施策内容等を見直し、検討を要する施策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 市街地・拠点等の整備 <input type="radio"/> 生涯学習の推進 <input type="radio"/> スポーツの推進 <input type="radio"/> 林業の振興 <input type="radio"/> 商工業の振興 <input type="radio"/> 企業誘致の推進 <input type="radio"/> 観光の振興 <input type="radio"/> 市民参加の推進 <input type="radio"/> 中山間地域の振興 <input type="radio"/> 情報・通信の環境整備 <input type="radio"/> 情報公開・情報提供
<p>D</p>	<p>これまで通り継続し、将来に向けての検討が考えられる施策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 公園・緑地の整備 <input type="radio"/> 自然環境の保全 <input type="radio"/> 健康づくりの推進 <input type="radio"/> 文化活動の推進 <input type="radio"/> 農業・水産業の振興 <input type="radio"/> 男女共同参画の推進 <input type="radio"/> 多文化共生の推進

最重点項目について前回と比較した結果は以下の通りとなる。

8つの重点項目をみると、3つのパターンに分かれる。

①『満足度が増加』(0.06以上増加)かつ『重要度が減少』(-0.06以下減少)

- 「公共交通の充実」があげられる。

②『満足度が上昇』かつ『重要度が微減および横ばい』(0~-0.05以上)

- 「交通安全対策」「浸水対策」「道路の整備」「雇用・勤労者対策」があげられる。

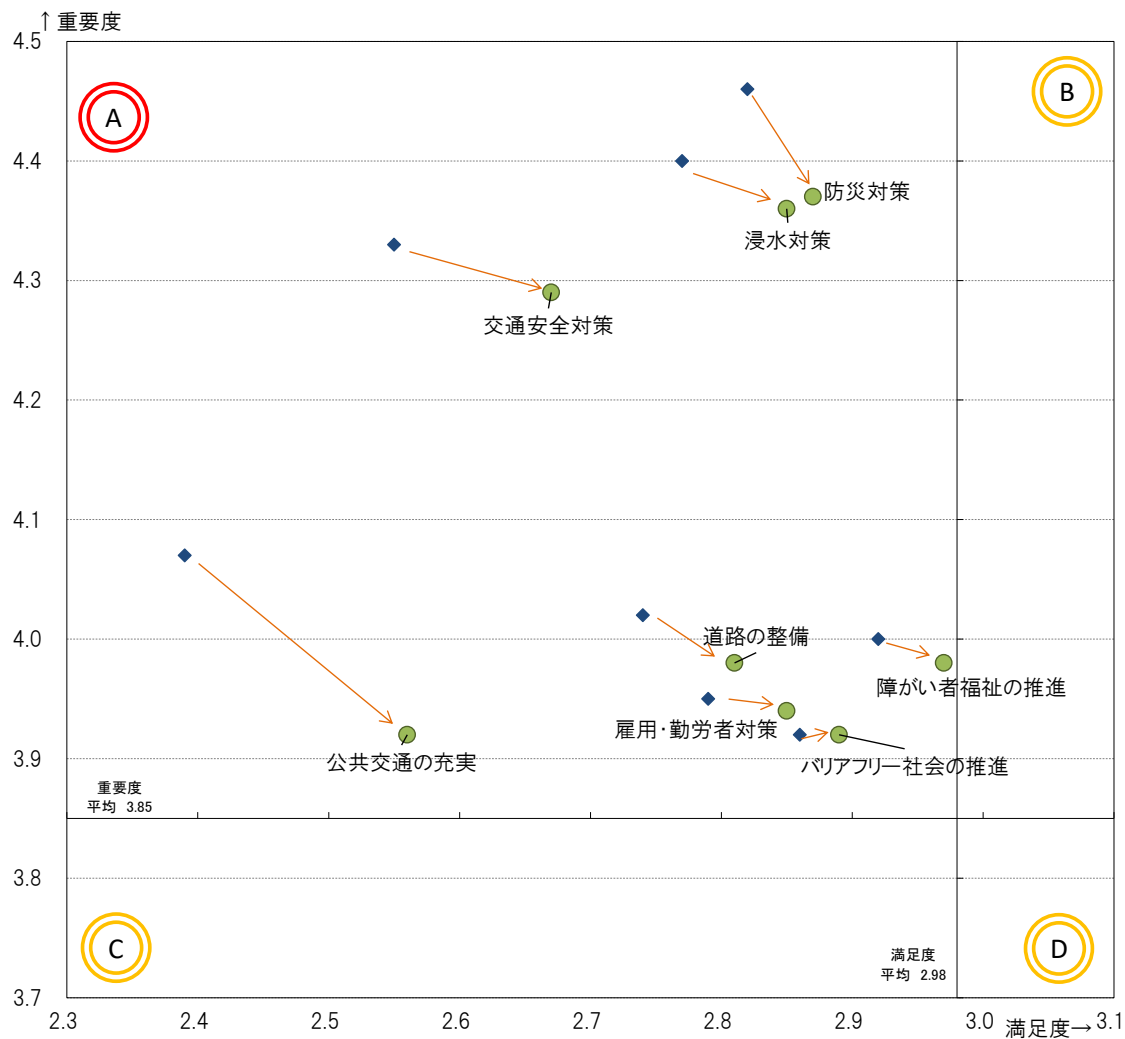
③『満足度が微増および横ばい』(0~0.05以下)かつ『重要度が減少』

- 「防災対策」があげられる。

④『満足度が微増および横ばい』かつ『重要度がほぼ横ばい』

- 「障がい者福祉の推進」「バリアフリー社会の推進」があげられる。

満足度と重要度の関係



※ ◆前回調査 (令和元年度) ●令和3年度調査

ここで、最重点項目について、ニーズを算出して整理する。

《ニーズ得点》

ニーズ得点は、満足度と重要度により、満足度が低くかつ重要度が大きいほど点数が高くなる指標であり、その得点が大きい項目ほど市民のニーズが高いことを示している。

《満足度と重要度の各選択肢に対する得点（ウエイト得点）》

選択肢	満足度	重要度	得点
1	満足	重要	5
2	やや満足	やや重要	4
3	ふつう	ふつう	3
4	やや不満	あまり重要でない	2
5	不満	重要でない	1

《ニーズ得点の算出式》

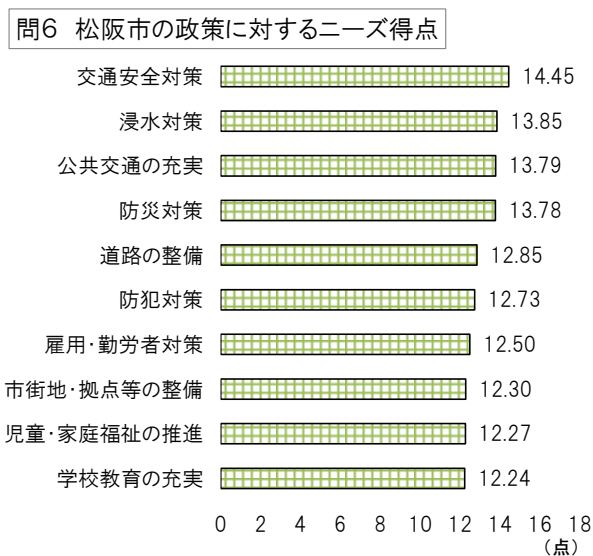
$$\text{ニーズ得点} = (6 - \text{満足度得点}) \times \text{重要度得点}$$

優先順位の判定にあたっては、平均ニーズ得点で行う。

《平均ニーズ得点の算出式》

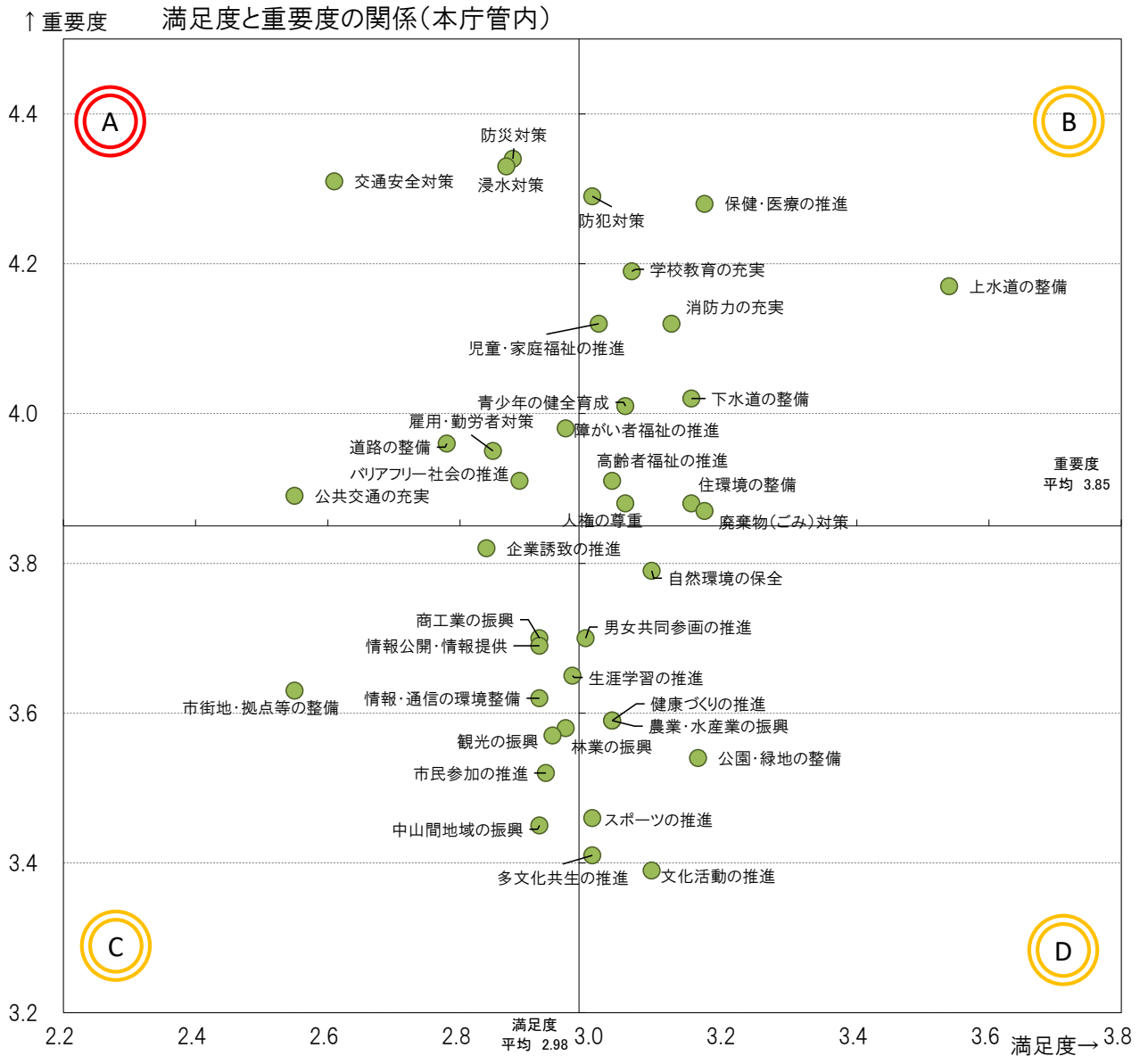
$$\text{平均ニーズ得点} = \text{ニーズ得点の合計} \div \text{回答数（満足度と重要度の両方が回答された数）}$$

以上の算出方法をもとに、最重点項目について平均ニーズ得点を整理すると、以下のように「交通安全対策」「浸水対策」「公共交通の充実」等のニーズ得点が高くなっている。



ここで、居住地域別に 38 項目の満足度と重要度から「市民が優先して求めている施策」を検討する。

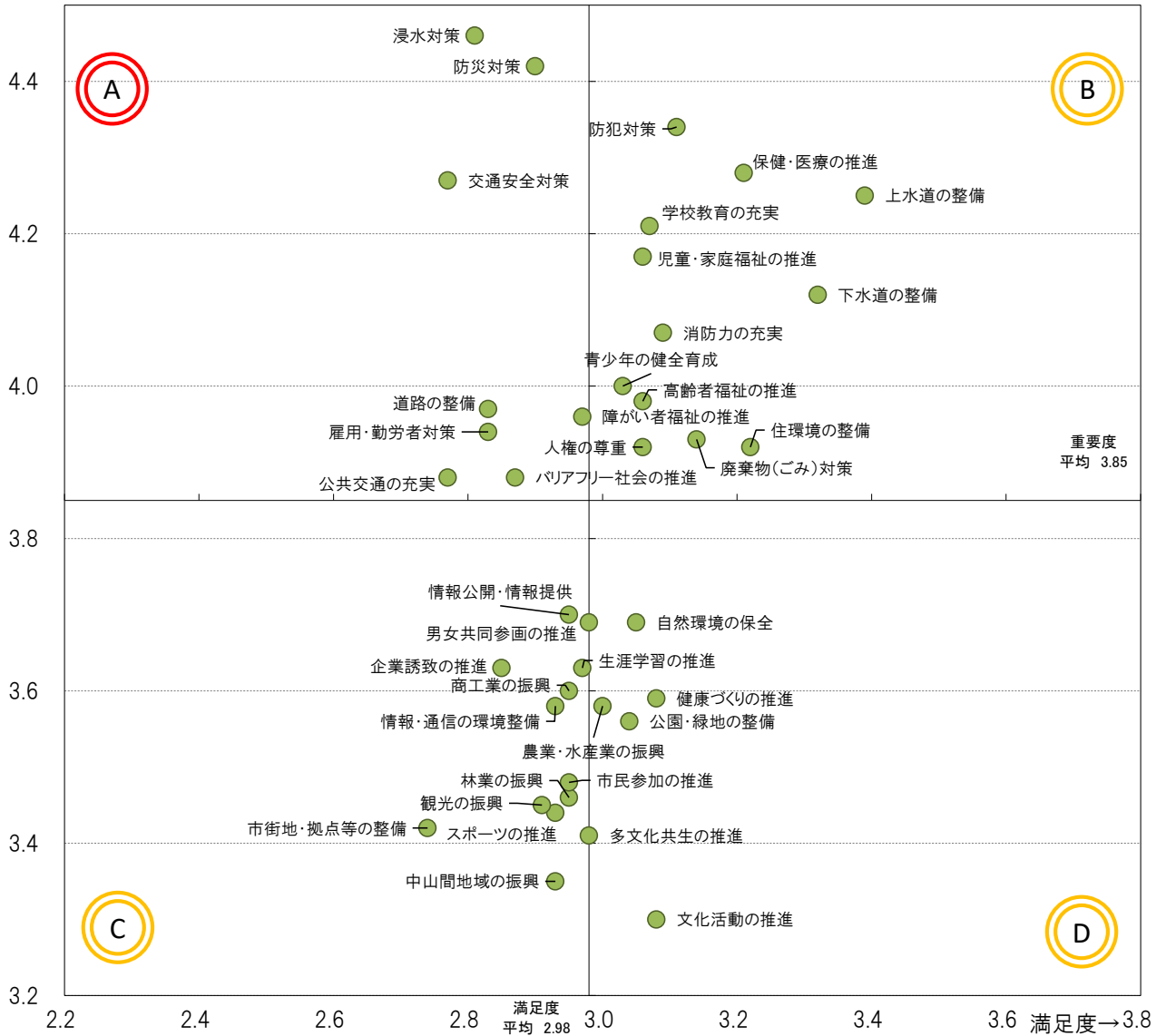
《本庁管内》



- A** 最重点項目 (本庁管内の市民が優先して求めている施策)
- 防災対策
 - 浸水対策
 - 交通安全対策
 - 道路の整備
 - 公共交通の充実
 - 障がい者福祉の推進
 - 雇用の充実
 - 公共交通の充実
 - パリアフリー社会の推進

《嬉野管内》

↑重要度 満足度と重要度の関係(嬉野管内)



- A** 最重点項目 (嬉野管内の市民が優先して求めている施策)
- 防災対策
 - 浸水対策
 - 交通安全対策
 - 道路の整備
 - 公共交通の充実
 - 障がい者福祉の推進
 - 雇用・勤労者対策
 - バリアフリー社会の推進

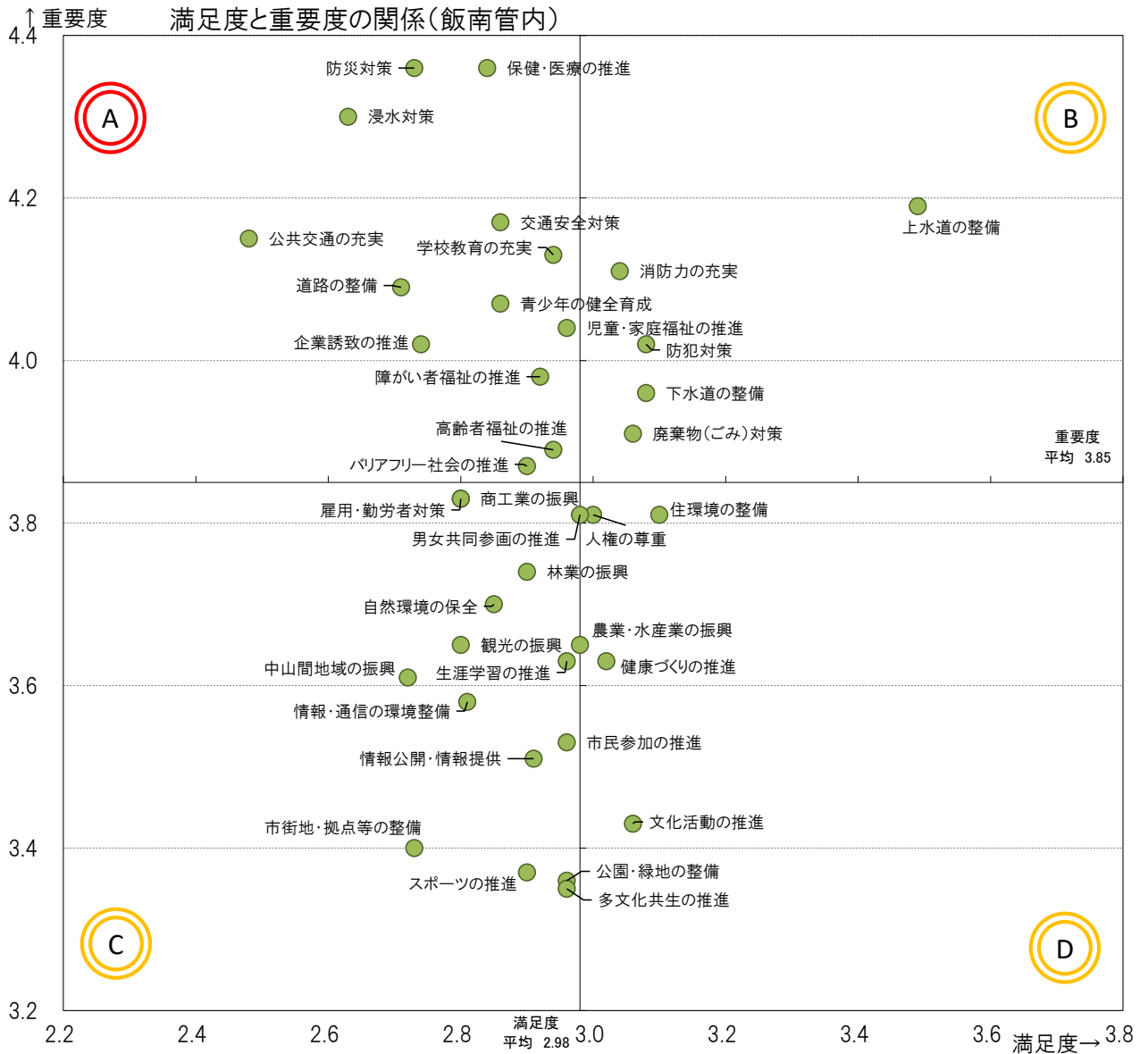
《三雲管内》

↑重要度 満足度と重要度の関係(三雲管内)



- (A)** 最重点項目 (三雲管内の市民が優先して求めている施策)
- 防災対策
 - 浸水対策
 - 交通安全対策
 - 公共交通の充実
 - 雇用・勤労者対策
 - パリアフリー社会の推進

《飯南管内》

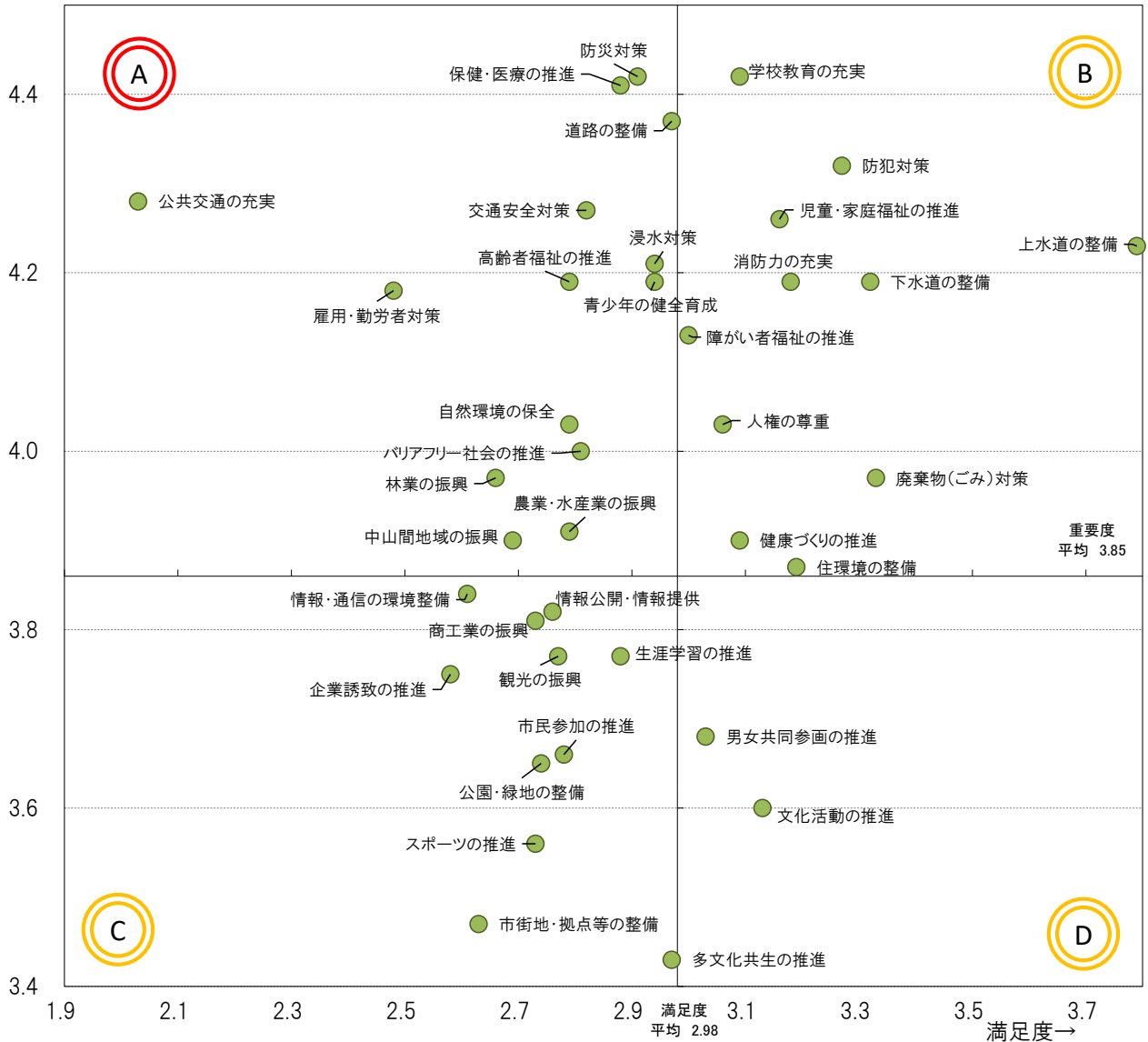


A 最重点項目 (飯南管内の市民が優先して求めている施策)

- | | | |
|----------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 防災対策 | <input type="checkbox"/> 保健・医療の推進 | <input type="checkbox"/> 青少年の健全育成 |
| <input type="checkbox"/> 浸水対策 | <input type="checkbox"/> 高齢者福祉の推進 | <input type="checkbox"/> 企業誘致の推進 |
| <input type="checkbox"/> 交通安全対策 | <input type="checkbox"/> 障がい者福祉の推進 | <input type="checkbox"/> パリアフリー社会の推進 |
| <input type="checkbox"/> 道路の整備 | <input type="checkbox"/> 児童・家庭福祉の推進 | |
| <input type="checkbox"/> 公共交通の充実 | <input type="checkbox"/> 学校教育の充実 | |

《飯高管内》

↑重要度 満足度と重要度の関係(飯高管内)

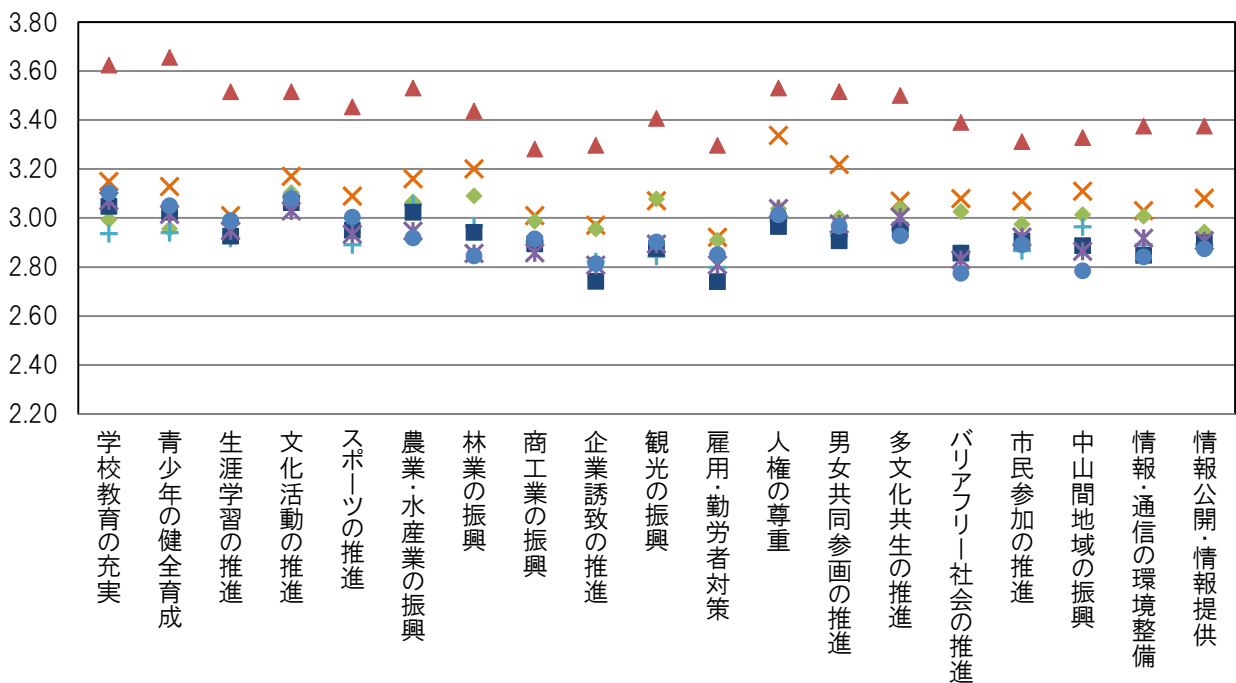
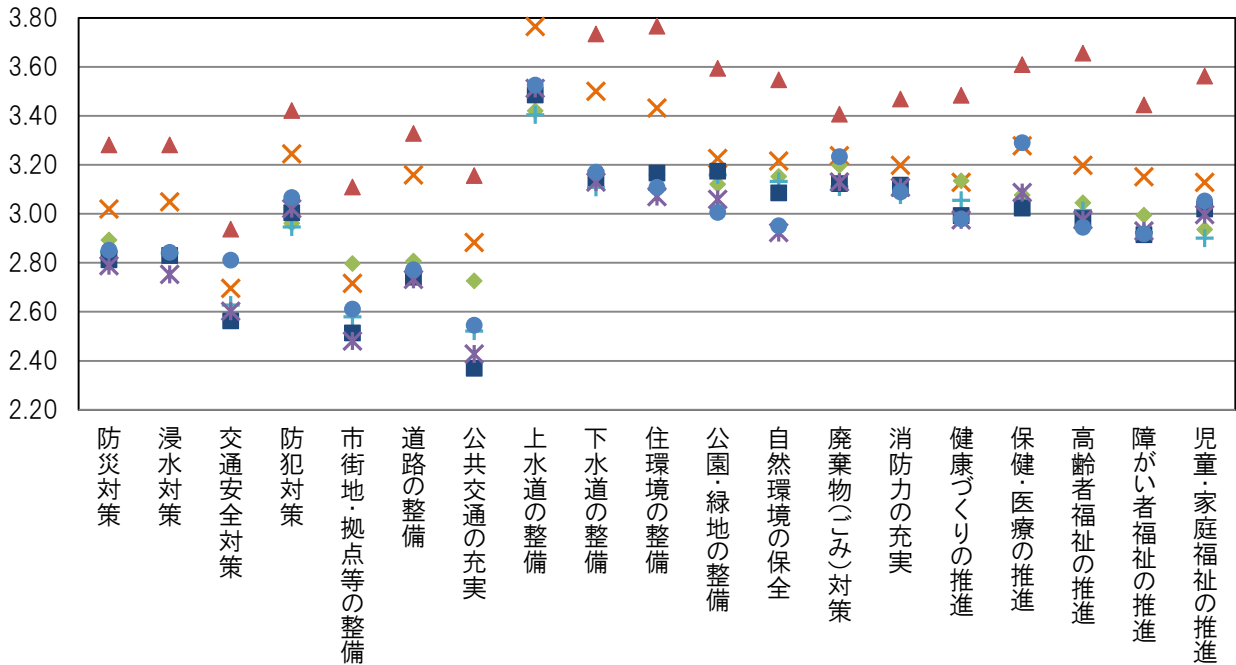


- A** 最重点項目(飯高管内の市民が優先して求めている施策)
- 防災対策
 - 浸水対策
 - 交通安全対策
 - 道路の整備
 - 公共交通の充実
 - 自然環境の保全
 - 保健・医療の推進
 - 高年齢福祉の推進
 - 青少年の健全育成
 - 農業・水産業の振興
 - 林業の振興
 - 雇用・勤労者対策
 - パリアフリー社会の推進
 - 中山間地域の振興

年代別にみた 38 項目の満足度と重要度は以下のとおりである。

《年代別 満足度》

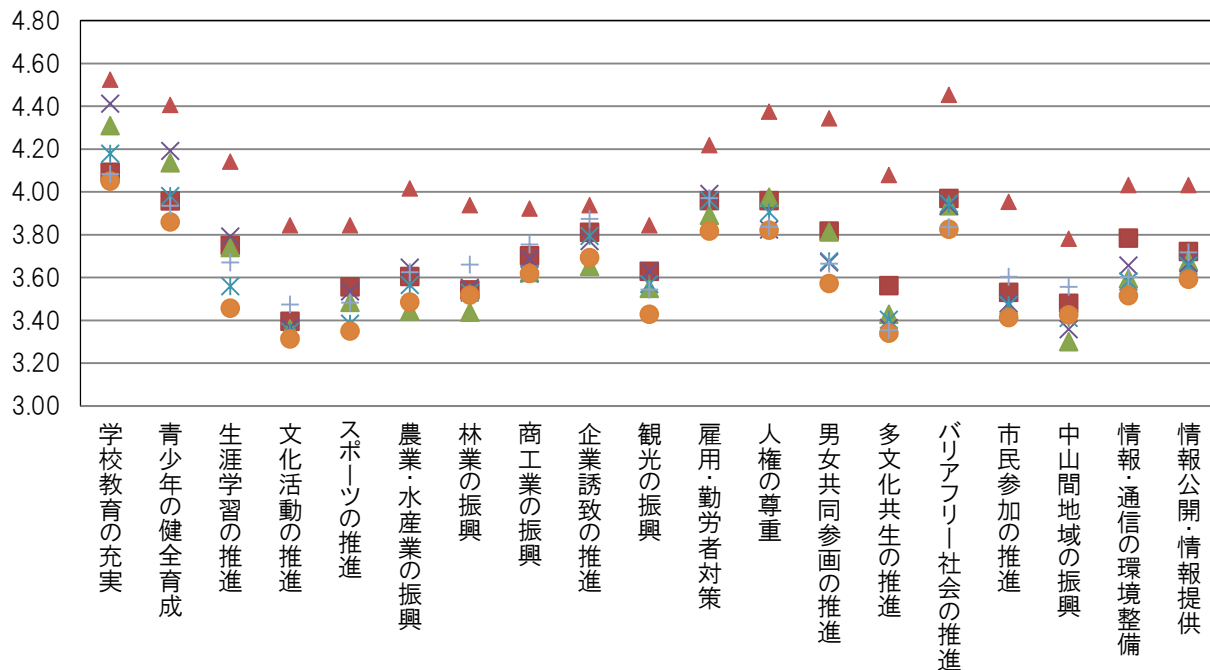
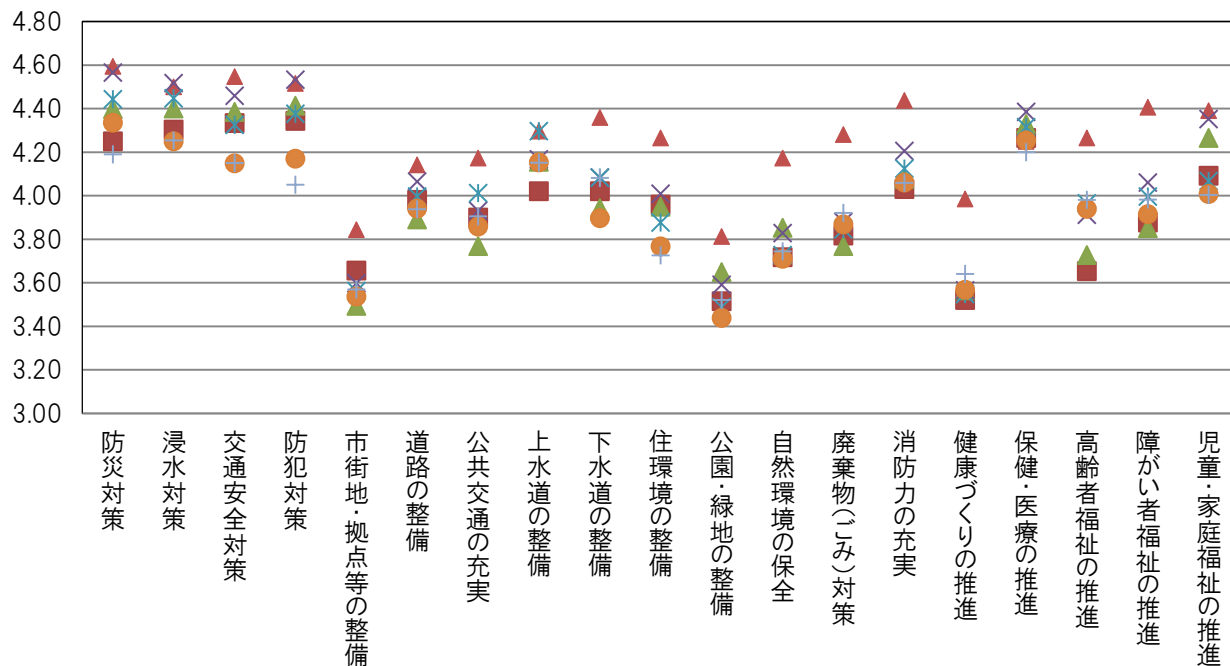
問6 年代別 満足度



▲10歳代 ×20歳代 ◆30歳代 +40歳代 ■50歳代 ×60歳代 ●70歳代以上

《年代別 重要度》

問6 年代別 重要度



▲10歳代 ■20歳代 ▲30歳代 ×40歳代 *50歳代 ●60歳代 +70歳代以上

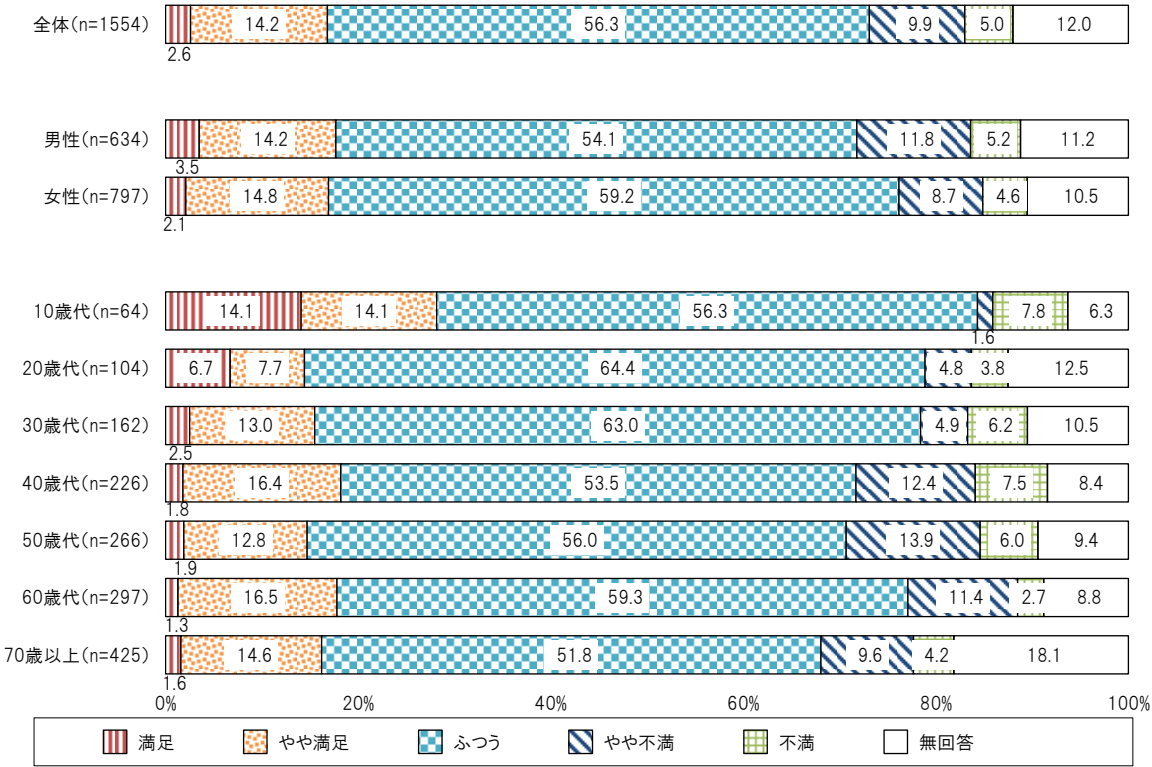
問7 あなたは松阪市の政策に対して、総合的にみてどのように感じていますか。（〇は1つだけ）

「ふつう」が56.3%で最も高く、ついで「やや満足」が14.2%、「やや不満」が9.9%となっている。

性別にみると、男性の方が女性よりも「満足」「やや満足」の合計の割合が0.8ポイント高くなっている。

年代別にみると、「満足」「やや満足」の合計の割合は10歳代で高く28.2%となっている。一方で20歳代および50歳代で低くなっている。

問7 松阪市の政策を総合的にみたときの満足度



前回と比較すると、「満足」「やや満足」の合計の割合はほぼ横ばいとなっている。

問7 松阪市の政策を総合的にみたときの満足度

